

第3章 UK の公共図書館

本調査報告においては、イングランド地方、ウェールズ地方、スコットランド地方、北部アイルランド地方の4つの地域を合わせてUKと称するものとする。(ただし、固有名詞に関してはこの限りではない。)

UKの人口については、以下の表のようにUK全体で58,793,400人である。内訳は、イングランド地方49,136,300人、ウェールズ地方2,903,200人、スコットランド地方5,064,600人、北部アイルランド地方1,689,300人となっている。

地域別の人口規模

地域	住民人口	15歳未満	15歳～59歳	60歳以上	少数民族
イングランド地方	49,136,300	18.9%	60.3%	20.8%	6.3%
ウェールズ地方	2,903,200	18.9%	58.4%	22.7%	1.5%
スコットランド地方	5,064,600	17.9%	61.0%	21.1%	1.3%
北部アイルランド地方	1,689,300	21.9%	60.5%	17.6%	—
UK全体	58,793,400	18.9%	60.3%	20.8%	5.5%

資料：Public Library Statistic 2001-2002

UKの国土面積はおよそ243,010k m²である。その内訳は、イングランド地方130,500k m²、ウェールズ地方20,800k m²、スコットランド地方78,130k m²、北部アイルランド地方13,580k m²となっている(国土面積の内訳は英国貿易総省資料による)。

本調査報告は、記載がない限り2001-2002年の統計データをもとに作成している。

1. 公共図書館の位置付けと機能

1. 地方制度と公共図書館の法的・制度的な位置付け

(1) 国と地方の関係、地方自治制度(州・県・市町村等)について

イングランドでは、1992年地方自治法(Local Government Act 1992)が制定され、地方自治法に基づき、イングランド地方自治体委員会(Local Government Commission for England)が発足した。イングランド地方自治体委員会では、イングランドの地方圏を従来の2層制(34のカウンティと296のディストリクト)から、1層制(93のユニタリー)を目指して地方自治体の構造改革が進められた。しかし、ユニタリーへの移行は進まず、従来のカウンティ内の全ディストリクトがユニタリーとして再編された地域と、従来のカウンティとディストリクトの2層制の

UKの標準統計地域



引用者注) オークニー諸島とシェトランド諸島はスコットランドに含まれる。

出所) Great Britain, 2000i, p. 239.

出典：辻悟一『イギリスの地域政策』世界思想社,2001

存続する地域及び、カウンティ内の一部のディストリクトがユニタリーに移行し、他の自治体は2層制が存続する地域と3つの類型が混在する状況となった。その状況を反映した2000年の地方自治法(Local Government Act 2000) 施行により、イングランド・ウェールズ地方では、基本的に3つの地方自治体の形態からひとつを選択導入することとなった。

ロンドンでは、これ以外にグレーター・ロンドン・オーソリティ (Grater London Authority: GLA) が、2000年7月に創設されている。なお、図書館行政は、イングランド地方圏においては、ユニタリーもしくは、カウンティが担当している。大都市圏では、大都市圏ディストリクトが図書館行政を担当している。ロンドンでは、GLAではなく、ロンドン特別区 (London Borough Councils) やシティ (City of London Corporation) が、図書館行政を担当している。

イングランドの自治体概念図



注：（ ）内の数は2000年現在の組織設置数。

ウェールズでは、1994年ウェールズ自治法 (Local Government (Wales) Act 1994) によって、それまでの2層制 (8つのカウンティと37のディストリクト) から一層制自治体である22のユニタリー (Unitary Authorities) へ移行が実施され、同時に、警察消防、交通などの自治組織が設置されている。図書館は、22のユニタリーにより担当されている。

ウェールズの自治体概念図



注：（ ）内の数は1996年現在の組織設置数。

スコットランドでは、1973年スコットランド自治法 (Local Government Act (Scotland) 1973) により、1975年5月に広域自治体と基礎的自治体または、島部からなる自治体制度が導入された。その後、1994年スコットランド地方自治等に関する法律 (Local Government (Scotland) etc. Act 1994) により、1996年従来からの2層制 (9つのリージョンと53のディストリクト) にかわって1層制のユニタリー (Unitary Authorities) や島部カウンシル (Islands Councils) へ移行がなされ、地方自治体及び水道、警察、消防などの専門事務委員会が設立された。

図書館は、29のユニタリーと3つの島部カウンシルによって担当されている。また、1998年スコットランド法 (Scotland Act 1998) が制定され、1999年7月スコットランド議会在が創設された。議会の執行機関であるスコットランド自治政府 (Scottish Executive) は、スコットランド省の機能を完全に引き継ぐこととなった。

スコットランドの自治体概念図



注：（ ）内の数は1996年現在の組織設置数。

北部アイルランドでは、1973 年地方自治体の構造改革が実施され、26 のディストリクト (District Council) が、設立された。このほかに、図書館や教育を担当する 5 つの地域委員会 (Area Boards) と社会福祉や厚生関係の 4 つの地域委員会と 1 つの住宅行政機関、1 つの消防自治体が設置されている。

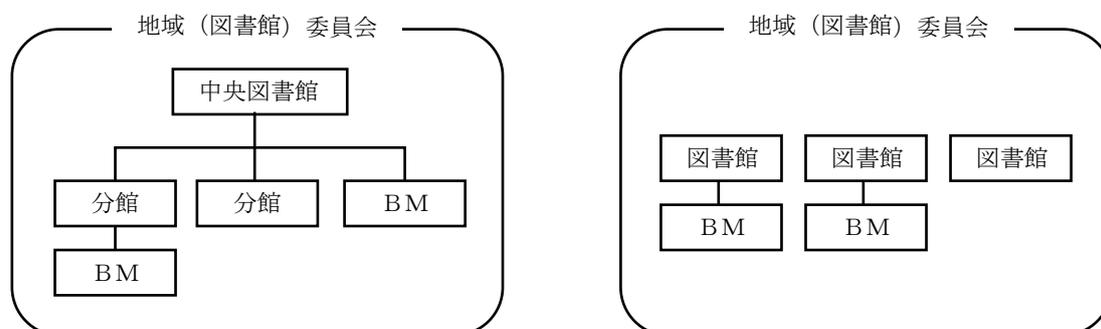
北部アイルランドの自治体概念図



注：() 内の数は1973年現在の組織設置数。

(2) 地方制度の段階 (層構造) と、公共図書館のネットワークについて

UK の場合、広域行政＝図書館行政となっているため、図書館設置団体ごとにそれぞれ中央図書館と分館、ブックモービル (BM) とで層構造を形成している。図式化すると、以下のような 2 つの構造がある。



(3) 公共図書館の設置・運営に関する関連法令の体系と設置運営主体について

UK においては、成文憲法典は存在しない。UK 議会が制定する法令及び慣習法が拠りどころとなる。また、全国を対象とする法令と各地方のみを対象とする法令がある。UK に、全国を対象とする図書館法は存在しない。イングランド地方とウェールズ地方でひとつの図書館法を制定し、スコットランド地方も図書館法を制定している。北部アイルランド地方は、図書館法にあたるものが政令 (Order) として出されている。

それぞれの地域を具体的に見ていくと、イングランド地方とウェールズ地方では、1964 年公共図書館・博物館法 (Public Libraries and Museums Act 1964) が制定されている。

この 1964 年の公共図書館・博物館法では、それまでの図書館法が大幅に改正され、居住者のほか、その地域で勤務する者か、あるいは全日制の教育を受ける者を対象として、図書館サービスが実施されるようになった。この法律の特徴は以下の点である。

- 1 公共図書館のサービスの維持に自治体ばかりでなく、担当大臣にも自治体の図書館サービスに対する監督と機能の執行を確保する職務が与えられた。(1 条)
- 2 この法律の施行後できるだけ速やかに大臣は命令によってイングランドおよびウェールズの全域に図書館地域エリアを指定しなければならない。(3 条 1 項)
- 3 大臣は、地域内の図書館当局と協議の上、各公共図書館地域のための計画を作らなければならない。(3 条 2 項)
- 4 従来、自治体に図書館を設置する権限が委ねられていたが、この法によって、図書館を設置できるのはカウンティ、ロンドン、大都市ディストリクトに限定される。(4 条)

この後、1972 年の地方自治法の改正により地方自治体の構成が変化したため、現在は、上記の 4 条が削除されている。現在の地方自治法では、カウンティ、ユニタリー、ロンドンの特別区、シティ、大都市ディストリクトが公共図書館の設置権限を有している。

スコットランドでは、1955年スコットランド公共図書館法（Public Libraries (Scotland) Act 1955）が制定されている。この法律に定められている主な項目は、図書館行政当局（Authorities）、連携、図書館資源の提供、権利者、土地と建物、図書館財政、委員会、職員などについてである。これによって、スコットランドの図書館行政当局は、リージョナル（regional）・島部（island）・ディストリクト（district）に3区分され、法の強い影響を受けそれぞれのエリア内において政策の実施に取り組んだ。現在は、1994年スコットランド地方自治法等法の施行により地方自治制度が変わり、図書館行政も29のユニタリーと3つの島部カウンシルによって担当されている。

北部アイルランドでは、1972年教育・図書館令（The Education and Libraries (Northern Ireland) Order 1972）が図書館に関する法令として施行されている。

UKにおいて、公共図書館は各公共図書館法や教育・図書館令で設置運営することが規定されており、国の中央図書館と公共図書館は法令上直接関係していない。

現在の英国図書館（The British Library）は、1972年英国図書館法（The British Library Act 1972）が制定されたことに始まる。それを受け1973年7月、大英博物館図書館部門などの5大図書館を一体化し、国の管理のもとに独立させて英国図書館として設立した。英国図書館は、納本と全国書誌の作成などを担当している。

英国図書館と地域の図書館との関係については、近年新たな動きが出てきている。2003年2月から図書館協力・パートナーシップ・プログラム（Co-operation and Partnership Programme）の一環として、地域へ届く（Reaching the Regions）というプログラムの最初の対象地域に、イングランド地方の北東地域（the North East）と南東地域（the South East）が決められた。この事業は、英国図書館とその蔵書をより多くの国民と結び付け、遠隔地の利用者に対する図書館サービスを向上させることを目的としている。この事業の実施にあたっては、地域ごとの博物館・図書館・文書館評議会（Museums Libraries and Archives Council）を通して約100,000ポンドの助成が行われている。助成を受けた地域では、英国図書館の蔵書を活用するプロジェクトを策定する。そして、策定した計画に基づき、英国図書館とともに協働で実施することになっている。

(4) 公共図書館に対する国家レベルの体制と方針について

文化・メディア・スポーツ省（Department for Culture, Media and Sport: DCMS）の2004年の「年報」（Annual Report）によれば、同省が図書館の所管官庁となっている。文化・スポーツ・メディア省には、1人の大臣と3人の業務別担当大臣（Minister of State）がおり、このうちのメディア・文化担当大臣兼貴族院（上院）の報道官が、図書館行政を担当する。図書館を担当する部署については、8つある部局のうちのひとつである観光および図書館・コミュニティ局である。この局には、観光課と図書館・コミュニティ課の2つのセクションがあり、図書館・コミュニティ課が図書館を担当している。

また、UKにおける補助金には、用途を特定の目的に限定する補助金と包括的な補助金がある。自治体の裁量を高める包括的補助金の傾向が大きくなっており、図書館への補助金もここに含まれている。なお、UKの場合は、補助金の財源として文化メディア・スポーツ省の所管する宝くじ収益基金も充てられている。宝くじ収益資金（Big Lottery Fund）は、新機会基金（New Opportunities Fund）と地方基金の2つを合わせたものである。UKにおける図書館の情報ネットワーク整備に向けた計画である市民のネットワーク（People's Network）に対する補助金は、新機会基金から支出されていた。

イングランド地方では、2003年2月10日、文化・メディア・スポーツ省により、今後10年間にわたる公共図書館サービスの戦略ビジョンとなる「未来への枠組み」（Framework for the Future）が公表された。このビジョンでは21世紀の公共図書館サービスの使命として、読書と学習の促進、市民へのコンピューターリテラシー教育や電子情報サービスの提供、コミュニティにおける社会的参加の推進の3つを掲げている。これにより、地方自治体と国が公共図書館の使命を共有しサービスの向上を目指すこととされている。

2. 公共図書館の数

(5) 地方自治制度の段階別の公共図書館数（分館・サービス拠点を含む）について

UK 全体の公共図書館数は 4,170 館である。その他にブックモービル（BM）等を利用したモバイル・ライブラリー（Mobile Library）が 664、病院等のサービス・ポイント 17,103 箇所がある。地方別の数は以下のとおりである。

公共図書館数

区分	公共図書館	モバイル ライブラリー（台）	サービス ポイント（カ所）
イングランド地方	3,146	473	15,411
ウェールズ地方	314	66	546
スコットランド地方	561	93	763
北部アイルランド地方	149	32	383
UK 全体	4,170	664	17,103

(6) 地方自治制度の段階別の公共図書館設置率について

UK においては、図書館設置権限を有する自治体は、基本的広域行政体あるいは地域委員会であるため、基礎自治体レベルの図書館設置率は公表されていない。なお、イングランド地方のユニタリー、カウンティ、大都市ディストリクト、ロンドン特別区段階では、設置率 100%である。ウェールズ地方は、ユニタリー段階の設置率が 100%である。スコットランド地方でもユニタリー段階での設置率は 100%である。北部アイルランドでも、図書館行政を担当する地域委員会レベルでの設置率は 100%である。

(7) 複数の自治体にまたがる図書館ネットワーク、コンソーシアム等について

UK では、地域のいくつかの図書館設置団体から構成されるコンソーシアムが見られる。例えば、イングランド東部地方で行なわれている Co-East と呼ばれるものがある。Co-East のウェブサイトでは、ミュージアム、アーカイブズ、図書館で情報資源の提供を目的として、UK 全土で行われている①Ask a Librarian（電子レファレンスサービス）と②Familia（先祖の系譜調査サービス）の 2 つが提供されている。この他に、地域の 6 つの図書館設置体による共同での情報提供サービスである③リクエストが行なわれている。以下はイングランド東部の 6 つの図書館設置団体によるデータベースの概要である。

- ① Ask a Librarian：図書館は利用者が求めている情報を見つける手助けをする。
- ② 先祖系譜情報（Familia）：UK およびアイルランドの公共図書館で所蔵された系譜の軌跡をたどるサポートをするためのウェブサイトである。
- ③ リクエスト：地域図書館のコンピュータ、あるいはウェブサイトによって共同の目録情報を提供する。

イングランド東部のほかにも、イースト・ミッドランド地域図書館システム（The East Midlands Regional Library System: EMRLS）というものがある。イースト・ミッドランドの 9 つの図書館設置団体と 8 大学からなる図書館の相互支援（相互扶助）のための枠組みを提供する協同組織である。EMRLS は、新たな戦略グループの形成（2003 年 2 月に設立された）、地域を越えた資源の共有、図書館の協力促進の 3 点を意図している。EMRLS は、メンバーを組織し、イースト・ミッドランド全体の図書館と情報サービスのために戦略ステートメントを公表している。「戦略」の中では、資源の共有と協同グループが項目として設けられ、グループの役割が 7 項目で明示されている。例えば、EMRLS メンバー相互間で、資源のアクセスを容易にすることや協力を獲得するための可能性を探ることである。また、イースト・ミッドランドにおける公共図書館の情報を共有し、図書館活動をサポートすることを目的とした、イースト・ミッドランド読者・図書館開発プロジェクト（East Midlands Reader and Library Development Project）というものがある。地域の読書推進活動のための戦略も作成しており、公共図書館の図書館サービス、情報サービスの指針に影響を与えている。

こういった図書館開発プロジェクトは、地域の芸術、宝くじ収益の基金プロジェクトとして、公共図書館員のための研修プログラムを3年間実施している。また、公共図書館設置団体により、読書推進委員会が開催されており、これによって、いくつかの革新的なプロジェクトが提供されている。

3. 公共図書館サービスの基本理念、原則について

(8) 図書館に対する一般国民の意識、公共的な文化施設としての認識の状況

UKにおいて、公共図書館に対する一般国民の意識を示す直接的な数字は無い。しかし、歴史的な経緯からすれば、市民生活に密着したものと見ることができる。それは、UKの公共図書館が、当初、労働者に対する貧困救済や道徳心の涵養を目的として始まったとされることである。これは、公共図書館が、民主主義を担う個人や社会を改善し、向上させていくことでもあった。

現在のUKにおいて、公共図書館は、生涯学習、レジャー、文化、研究・調査に貢献するものとされ、多くの図書館では、情報通信技術（Information and Communications Technology: ICT）を利用するための講座を開き、人々が情報を活用できるようにしている。このように時代に合わせたサービス提供を通じて、市民が民主主義社会における判断主体として必要な、情報や技術を提供している。また、図書館は人々の生活に身近な存在である。例えば、北部アイルランド地方の南東教育・図書館委員会（South Eastern Education and Library Board）が設置母体となる地域においては、26の分館と5台のBMのネットワークを通じて図書館情報サービスが提供されている。このように、図書館から遠い地域では、BMを通じたアウトリーチサービスが実施されている。こうしたアウトリーチサービスも図書館の情報通信技術（ICT）にかかわるサービス提供の傾向を反映し変化しつつある。例えば、イングランド地方のウェストミッドランド（West Midlands）のウォールソール（Walsall）公共図書館のモバイル・ライブラリーであるブックモービル（BM）では、図書やその他資料のほかに4台のPCを積載し、インターネットやCD-ROM、図書目録、EメールやCD-ROMゲームなどが利用できるサービスを提供している。このBMは、ブロックスウィッチ（Bloxwich）地域分館を基地（館）として、そこから0.5マイルを以上はなれた地域をサービスエリアとするように決められている。BMは毎週決められたスケジュールに基づき、46カ所の拠点を訪れサービスを提供している。なお、拠点に選ばれた46カ所は、図書館サービスの利用が低い地域である。

(9) 公共図書館サービスの基本理念、一般原則について

図書館における基本理念としての公開性・無料性については、イングランドの1964年公共図書館・博物館法（Public Library and Museums Act 1964）に規定されている。公開性は同法第7条において「利用を望むすべての人々のために、包括的で効果的な図書館サービスを提供することがすべての図書館設置組織の責務である（後略）」と示されている。無料性は第8条において、「本条において規定する場合を除き、図書館設置団体は図書館利用に料金を課してはならない」として示されている。無料性は、同法を基に定められた1991年の図書館手数料規則（The Library Charge（England and Wales）Regulations 1991）で、手数料徴収が認められたもの以外に適用されている。すなわち、図書館が所蔵している印刷形態の資料の貸出し及び、図書館資料を典拠としたレファレンスサービスは無料サービスであるという方針を示している。

(10) 著作権の保護、図書館の公共貸与権、出版社への保障などについて

英国著作権法（Copyright Designs and Patents Act 1988）のなかで図書館に関連した規定は、第37条から第44条である。著作権法には図書館の定義がなく、著作権法に基づき「1989年著作権（司書とアーキビスト）（著作権資料の複製）規則」（The Copyright Regulation 1989）（Statutory Instrument 1989/1212）に図書館の一覧表及び一般的な適用除外規定がある。これらの例外規定は、営利を目的とした図書館には適用されない。例外規定では、司書にいくつかの行為を認めている。それは、著作権法および1989年の著作権規則で認められている。それらは、以下の行為である。定期刊行物の記事や発行された著作物の一部分の複製を作成すること、他の図書館へコピーを提供すること、所蔵資料のコピー、一定の未発行物のコピーを行うことである。

図書資料の貸出しによる「著作権と関連する権利に関する規則」(Copyright and Related Right Regulation 1996) (SI96/2967) では、貸与と貸出しを著作権侵害の対象となる行為とした。

著作権法 (40 条) では、公共図書館が資料を貸出しても、公貸権の範囲であれば著作権の侵害にならないとされている。さらに、指定された図書館では、いかなる種類の著作物のコピーを貸出しても著作権の侵害にならないと規定している。

公貸権については以下のようになっている。

UK では、著作権法とは別に 1979 年に公貸権法 (Public Lending Right Act 1979) を定めている。この公貸権法のもとで、1982 年に、図書館の資料貸出し冊数に応じて補償金を支払うことを規定し、200,000,000 ポンドの資金をもって、制度の運用を開始した。公貸権の適用範囲は、市民が借りることを前提とした図書館の所蔵する資料であり、ブックモービル (BM) などの資料も含まれる。公貸権の存続期間は、言語や美術などの著作物の保護期間と同じ、著作者の生存期間プラス 70 年である。現在この制度は、文化・メディア・スポーツ省により所管されている。

公貸権制度は、この制度に登録している著作者 (30,000 人以上) に対して、7,201,000,000 ポンド (日本円で 1 兆 4,264 億円) ある政府の拠出金による基金 (2004 年度) を、UK 全土で 32 図書館設置団体 (内訳はウェールズ 3、スコットランド 5、イングランドの南東部カウンティ 5、イングランドの南西部カウンティ 4、イングランドの北部カウンティが 4、大都市圏 4、ロンドン 4) のサンプル図書館での貸出し実数から、換算して補償する形態が採られている。2004 年は、貸出し 1 回につき 4.85 ペンス (日本円で 9.6 円) を支払うことになっている。例えば、同一著者の本が 1,000 回貸出しされていれば、4.85 ペンス×1,000 で 4,850 ペンス、つまり 48.5 ポンド (日本円で 9,600 円) となる。この著者に対する補償額の最高額は、6,000 ポンド (日本円で 1,188,480 円) と上限が決められている。また逆に最低額は、5 ポンド (日本円で 990.4 円) から著作者に対して支払う仕組みになっている。対象者は、UK において出版された書籍の著作者であれば、ヨーロッパ圏内の著作者はすべて対象となっている。2002 年から 2003 年の補償金支払実績は、次表のとおりである。(日本円換算については 2004 年の為替相場の年平均値、1 ポンド=198.08 円として算出。)

補償金支払実績 (2002—2003 年)

一著者当り補償額 (ポンド)	対象者数 (人)	補償額 (ポンド)	総補償額に占める 割合 (%)
6000 (上限)	245	1,476,489	23.8
5,000~6,000	75	413,768	6.7
2,500~5,000	340	1,207,639	19.5
1,000~2,500	759	1,181,340	19.1
500~1,000	894	625,300	10.1
100~500	3,952	903,590	14.6
50~100	2,657	189,454	3.1
5~50	10,140	196,937	3.2
全体	19,062	6,194,517	100.0

注：2002—2003 年は貸出し 1 回につき 4.21 ペンスが支払われた。

PLR (公貸権) 事務局のウェブサイト内に FAQ (Frequently Asked Questions) が設けられている。このサイトには、PLR についてよく質問される事項を登録・オンライン登録・図書館・譲渡や委託といった 4 つの項目に分類され、さらに細かな項目に従って掲載されている。登録においては、どうやってわりあてるのか、出版された日から PLR が要求できるのか、他の国においても PLR が要求できるのか、などである。

また、著作権者への支払いは、毎年 4 月 1 日からの 4 日間で集中的に行われている。支払いは直接銀行などを通じて行われる。この支払い方法は、PLR 事務局にとって効率的な方法であり、PLR 基金からの即時支払いを確実なものとしている。

(11) 貸出開始時期を遅らせるなどの著作者への配慮について

PLR のウェブサイトには、貸出し開始時期を遅らせるなど、著作権者との共存への配慮が明示されているものが見当たらない。

ただし、北部アイルランド地方の ni-libraries.net という Web-OPAC における取り置き（予約）の説明部分には、著作権法の制限により、CD については、発売後 3 ヶ月間は貸出ができないと書かれている。

なお、2002 年度、UK の総出版点数は 125,390 点である。出版社総売上高は、国内および海外での売上高を合わせて 3,240,000,000 ポンド（日本円で 6,099 億 3,000 万円）であった。図書館の総費用は 930,911,442 ポンド（日本円で 1,752 億 4,408 万円）であり、このうち、図書の購入費は 88,685,934 ポンド（日本円で 166 億 9,513 万円）、資料購入費は 121,633,892 ポンド（日本円で 228 億 9,758 万円）である。図書館図書購入費は、出版社総売上高の 2.7% にすぎず、図書館資料購入費も同じく 3.7% にすぎない。（日本円換算については 2002 年の為替相場の年平均値、1 ポンド=188.25 円として算出。）

(12) 個々の公共図書館の使命（ミッション・ステートメント）について

ミッション・ステートメントについては、各図書館というよりも図書館設置団体ごとの「計画」(Plan) や「戦略」(Strategy) などに示されている。例えば、イングランド地方のノーサンバーランド (Northumberland) では、「2002-2003 年度年間図書館計画 (Annual Library Plan 2002-2003)」を刊行している。この計画では、例えば、学校へのサービス、子どものレファレンスブックや 183 台のインターネット端末などによる宿題支援機関、政府資料・地域新聞、フィルムコレクション、15,000 冊の詩集などの特殊コレクションによる研究支援、地域の中小企業のニーズに合わせたビジネス支援、地域の団体やイベント、交通機関などの地域情報、COBWEB というウェブベースの地域情報、地域の歴史に関連する資料を提供するサービス、障害を持った人々へのサービスなどが示されている。また長期的な計画として地域研究資料をデジタル化し、保存していくことも挙げられている。

また、イングランド地方のバッキンガムシャー (Buckinghamshire) の図書館では、住民の情報ニーズに耳を傾けているということが図書館サービス利用者憲章により「わたしたちは、図書館サービスに関して、あなた方の意見に耳を傾けます。わたしたちと共有したいと思われる何らかの批判や意見がある場合には、最寄の図書館の管理職にその旨を伝えるか、または図書館で用意している「批判・不満・および謝辞」の書式を埋めて提出して下さい。わたしたちは、すべての図書館で少なくとも 3 年に 1 度、完全な利用者満足度調査を実施し、その結果を公表します。わたしたちは、サービスに影響を及ぼす主要な諸問題について、利用者の意見をうかがい、また図書館サービスに関する改善と整備について常に情報を提供します」と公表している。

また、イングランドのサンダーランド (Sunderland) 公共図書館では、図書館、継続教育カレッジ、コミュニティ・ビジネス・センター、および地域の自発的なネットワークを含むさまざまな場所に設置される「電子政府」を整備しようとしている。電子政府は、利用者に対して、パソコンとインターネットへの自由なアクセスを提供するだけでなく、成人から子供までを対象として広範囲に及ぶソフトウェアを備え、訓練された図書館スタッフが利用者を援助することになっている。

(13) 地域社会の情報ニーズの定期的な調査などについて

UK において、利用者ニーズについては、文化・メディア・スポーツ省が、2001 年 1 月に発表した「公共図書館基準 (Comprehensive, Efficient and Modern Public Libraries - Standards and Assessment)」とのかかわりが深い。この基準の中に、各図書館設置団体は、少なくとも 3 年に一度は公共図書館利用者調査 (Public Library User Survey: PLUS) を実施することと記されている。これを反映した公共図書館利用者調査が、公共財政機構 (Institution of Public Finance: IPF) により運営管理されている。そして、公共図書館基準が適用されるイングランド地方とウェールズ地方では、基準に従い調査が実施されている。

一方、スコットランドと北部アイルランドに関しては、あまり調査が実施されてこなかったようであるが、北部アイルランドでは、最近実施された。その事例として、北部アイルランドの南東部 (South Eastern) では、公共図書館利用者調査が実施され、報告書 The PLUS 2003 survey: what it tell us and what we intend to do about it として 2004 年 5 月に公表されている。また、北部アイルランドの政治経済の中心ベルファスト

(Belfast)でも、Public Library User Survey2002としてこういった調査の結果が報告されている。

こうした公共図書館利用者調査については、「図書館統計 2001-2002 (Public Library Statistics 2001-02 Actuals)」に簡潔にまとめられて掲載されている。これにより、図書館設置団体別に利用者のニーズを把握することができる。ここに掲載されている項目は、開館時間、職員の専門的知識、職員の有用性、図書やその他資料、情報サービスや質問サービスを「大変良い」「良い」「普通」「良くない」「非常に良くない」の5段階で捉えている。それぞれの項目について「大変良い」または「良い」という評価が大半を占めている。なお、「良くない」「非常に良くない」という評価は、各項目ともほぼすべての設置団体で、10%未満である。

地域ごとの主な状況は次のとおりである。

公共図書館利用者調査におけるサービス評価状況

区分		大変良い	良い	普通	良くない	非常に良くない
イングランド地方 ロンドンのシティ (City of London Corporation)	開館時間	18	41	30	10	1
	職員の専門的知識	55	38	7	—	—
	職員の有用性	60	36	3	1	—
	図書・その他資料	34	49	15	2	—
	情報サービス・質問サービス	45	45	9	1	—
ウェールズ地方 ケアフィリー (Caerphilly)	開館時間	43	43	12	2	2
	職員の専門的知識	72	26	2	—	—
	職員の有用性	82	17	1	—	—
	図書・その他資料	40	42	16	2	—
	情報サービス・質問サービス	62	33	5	—	—
スコットランド地方 イースト・ダンバートンシャー (East Dunbartonshire)	開館時間	59	39	9	1	—
	職員の専門的知識	57	38	5	—	—
	職員の有用性	71	25	4	—	—
	図書・その他資料	33	39	23	4	1
	情報サービス・質問サービス	39	41	15	4	1
北部アイルランド地方 北東部 (North Eastern)	開館時間	45	39	14	2	—
	職員の専門的知識	75	24	1	—	—
	職員の有用性	86	14	—	—	—
	図書・その他資料	43	42	12	3	—
	情報サービス・質問サービス	82	13	5	—	—

2. 公共図書館の運営・経営の体制

1. 設立主体と運営主体の状況と管理運営・経営の責任体制と経費負担

(14) 公共図書館の整備や運営費の負担について

UKの地方自治体では、歳入の70%以上が国からの交付金・補助金であるため、図書館の整備に関して地元自治体の負担額は少ないと考えられる。例えば、既に終了した事例であるが、2002年末で一応事業を完結した「市民の図書館 (People's Network)」という事業では、新機会基金 (New Opportunities Fund: NOF) からの補助金をもとに公共図書館のネットワーク環境等の整備を行っていた。その後も、博物館・図書館・文書館評議会には、「市民の図書館」名目の補助金が新機会基金から交付されている (2003年度は97,000ポンド、日本円で1,826万円)。

また、イングランド地方における最近の図書館に対する補助金は、博物館・図書館・文書館評議会 (Musems, Libraries and Archives Council) を通じて交付されるシステムのため、博物館・図書館・文書館評議会の活動が記録された「年報・財務表」(Annual Report and Financial Statement) などから把握することが可能である。例えば、文化・メディア・スポーツ省とウルフソン財団金 (Wolfson Foundation) によるウルフソン公共図書館挑戦基金 (Wolfson Public Libraries Challenge Fund) は、1997年度から2002年度の6年間、イングランド地方の図書館利用者のために公共図書館のサービス向上を目的とし (最後の2年間は読書活動推進も対

象)、138 の公共図書館のプロジェクトに対し、13,000,000 ポンド (日本円で 24 億 4,725 万円) を博物館・図書館・文書館評議会を通じて交付した。なお、最終年である 2002 年度の単年度で見ると、DCMS とウルフソン財団から博物館・図書館・文書館評議会へ 898,000 ポンド (日本円で 1 億 6,905 万円) (博物館・図書館・文書館評議会の補助金事務に 26,000 ポンド、日本円で 489 万円) が交付され、実際に、博物館・図書館・文書館評議会から補助金として 2002 年度に 1,607,000 ポンド (日本円で 3 億 252 万円) が支出された。

なお、2003 年度からは、別の新たな補助金が始められた。それは、文化・メディア・スポーツ省が策定した公共図書館のためのビジョンである「未来への枠組み」(Frame of the Future) を実現させるための補助金である。2003 年度は「未来への枠組み」の補助金として 883,000 ポンド (日本円で 1 億 6,622 万円) が、使途限定補助金として博物館・図書館・文書館評議会に交付されている。そして、博物館・図書館・文書館評議会では、実際に 519,000 ポンド (日本円で 9,770 万円) の補助金を公共図書館や関連団体 (読書推進団体など) に交付している。具体的に 2003 年度に「未来への枠組み」の補助金が交付された機関・団体は、次のとおりである。

高学年の子ども及び教育図書館員協会 (Association of Senior Children and Education Librarians:ASCEL)	15,000 ポンド
バーミンガム (Birmingham City Council)	40,000 ポンド
CILIP (図書館・情報専門家協会) (Chartered Institute of Library and Information Professions)	146,000 ポンド
コミュニティ振興財団 (Community Development Foundation)	10,000 ポンド
図書館長協会 (Society of Chief Librarian)	31,000 ポンド
ハリンゲー (London Borough of Haringey)	13,000 ポンド
読書推進機関 (The Reading Agency)	264,000 ポンド

注:「未来への枠組み」の補助金は、2003 年度末時点で 301,000 ポンドが繰越金となっている

地方政府に対する交付金・補助金は、国家収入の約 1/5 を占める支出となっている。UK の補助金制度では、国から支給される補助金には、一般的な交付金・補助金と利用目的が限定される特定補助金がある。例えば、イングランド地方では、一般的な交付金・補助金として、歳入援助交付金・補助金 (Revenue Support Grant)、事業レイト再分配金 (Redistributed Business Rates) がある。特定補助金には、警察補助金 (Police Grant)、特定補助金 (Specific Grant) がある。「イングランドの財政 2004-2005 (Local Authority Revenue Expenditure and Financing England 2004-2005 Budget)」によれば、イングランド地方の 2004-2005 年予算での交付金・補助金を含めた収入の内訳を見ると、歳入援助交付金・補助金 34%、事業レイト再分配金 19%、警察補助金 5%、特定補助金 16%、カウンスル税 26% という構成になっており、74% が補助金で占められている。なお、図書館の運営費自体に関する詳細は、載せられていない。

このほかに、図書館の運営費に補助金が含まれていることを示す事例がある。北部アイルランド地方のベルファスト (Belfast) の教育・図書館委員会では、2002 年委員会の総収入 204,151,379 ポンド (日本円で 384 億 3,150 万円) であった。この収入の内訳は、97% が北部アイルランド教育省 (Department of Education for Northern Ireland) と文化・芸術・余暇省 (Department of Culture, Arts and Leisure) と高等・専門教育訓練・雇用省 (Department of Higher and Further Education Training and Employment) の 3 つの機関の交付金・補助金であった。他の交付金・補助金 (EU や新機会基金等) からは 1%、その他の雑収入 3% となっている。図書館への費用については、ベルファスト教育・図書館委員会の総支出 (230,849,506 ポンド、日本円で 434 億 5,742 万円) の 3% (約 6,900,000 ポンド、日本円で 12 億 9,893 万円) が支出されている。この図書館の費用には、新機会基金からの交付金・補助金が 64,492 ポンド (日本円で 1,214 万円) (図書館費用の 0.9%) 含まれている。(本項目の日本円換算については、2002 年は 1 ポンド=188.25 円/2003 年は 1 ポンド=189.48 円として算出。)

(15) 図書館の建設整備に PFI など、民間資金活用の試みについて

PFI (Private Finance Initiative) は、1992年にUKで民営化、エージェンシー化などの行財政改革を進展させたものとして導入された。1997年ブレア政権誕生後、1997年地方自治 (契約) 法 (Local Government

(Contracts) Act 1997) の制定がPFIの導入を推進する原動力となった。また、PFIの見直しが行われ、PFIよりも広いPPP (Public Private Partnership) も行われるようになった。

図書館におけるPFI (PPP) 導入事例のひとつとして、イングランド地方のボーンマス図書館 (Bournemouth Libraries) がある。そこでは、PFIを活用し中央図書館を建設し、IT設備導入が行われた (2002年8月)。ボーンマス図書館におけるPFIの事例はウェブサイト上に掲載されている。

また、イングランド地方のニューキャッスル (Newcastle) では、新しい図書館の建設、改修、小規模な増築からなるPFI事業が始められている。この事業では、中央図書館 (City Library) の新規建設、フェンハム図書館 (Fenham Library) とハイ・ヒートン図書館 (High Heaton Library) の改修、増築が実施され、その後、中央図書館建物の施設維持を25年間民間に任せる内容のものが実施されようとしている。事業の状況については、2003年11月中央政府からの承認を受け、2004年1月EUの広報誌に正式契約についての公示を行った。それを受けた2004年2月12日の締め切りで、いくつか関心を示す入札者があらわれた。7月7日には「交渉に招待する文書」 (The Invitation to Negotiate Documentation) が出された。入札者との一連の説明会議が、現在実施されている。2005年1月14日が入札者の示す最終案の期限である。その後、2005年春に入札者を決定する予定である。事業完了はフェンハム図書館とハイ・ヒートン図書館が、2006年4月30日を目標としている。また中央図書館は、2007年12月1日を目標としている。

(16) 公共図書館の運営を民間に委託することについて

UKにおいて、PFI等を活用し、図書館施設の建設や改修とその後の施設維持などが実施されている事例はたしかに存在する。しかし、図書館の運営まで民間に委託するような事例は見あたらない。

(17) 各段階の公共図書館の経営・運営の責任者について

UKにおいて各公共図書館の運営は、各公共図書館設置団体により異なっている。しかし、基本的にチーフライブラリアン (Chief Librarian) が、責任者となっている。チーフライブラリアンは、公共図書館だけでなく、学校図書館や情報通信技術サービスなども担当することが多い。また多くの権限は、各図書館長に任されていることが多い。

UKにおいて図書館専門職および館長は、公募され任命される。こうした情報について、例えば図書館・情報専門家協会 (Chartered Institute of Library and Information Professions: CILIP) の Lisjobnet というサイトなどで、図書館の職員の募集が掲載されており、この中に図書館の専門職や館長の公募情報も掲載される。また、各自治体の職員募集情報に載せられる場合もある。例えば、イングランド地方のコーンウォールカウンティカウンシルオンライン欠員システム (Cornwall County Council On-line Vacancy System) 等のようなものがある。

カウンシル、ディストリクト、ユニタリー、教育・図書館委員会などは、図書館の設置主体であり、図書館の方針を決定し、実施された業務の報告を受け取るセクションにあたる。例えば、北部アイルランドの南部教育・図書館委員会では、教育委員会やサービス委員会の他に図書館委員会 (Library Committee) がある。図書館委員会は、16人で構成され、その責任者は、委員長 (Chairman of the Library Committee) である。また、同じ北部アイルランドでもベルファスト教育・図書館委員会では、図書館委員会は、教師任命委員会とともに法定委員会に位置づけられている。

(18) 館長の経営手腕を評価するシステム、監督者が重視する評価項目について

UKにおいて、直接館長を評価するシステムは見あたらない。例えば、文化・メディア・スポーツ省 (DCMS) が2001年出した「公共図書館基準」 (Comprehensive, Efficient and Modern Public Libraries - Standards and Assessment) に基づき、図書館の運営状況を評価することが実施されている。基準の項目には、開館時間、貸出し、予約本の入手、ウェブサイトへのアクセス数、来館者数や利用者の満足度などが挙げられている。2004年10月に2001年4月に出された公共図書館基準が変更された。DCMSの図書館部門の責任者アンドリュー・マクラントシュ (Andrew McIntosh) は、新たに改訂した公共図書館基準について「新しい基準は項目数は少なくなっているが、内容的には拡大している。それらは、図書館利用者の期待を正しく知ることができ、ほか

と比較してどのくらい図書館サービスをよくやっているか知ることができるだろう」との声明を出している。この基準には、図書館へ利用者が来ること、開館時間、インターネットやOPACへのアクセス、毎年の新たな図書やほかの資料の購入などが設定されている。

このほか、2004年7月には「地域文化サービスについて行政の成果評価項目一覧の開発」(Developing a Performance Profile for Local Authority Culture Service) という枠組みが公表されている。これは、文化・メディア・スポーツ省より委託を受けたアンジェラ・ワトソン・アソシエーツが、地域の文化サービスを評価するための枠組みを検討したものであり、図書館も評価の対象として含まれている。

2. 図書館運営に関する年間経費の総額と資金負担の状況

(19)各段階の公共図書館年間予算総額と、1館当りの平均年間予算額について

UK全体の公共図書館年間総経費は930,911,442ポンド(日本円で1,629億950万円)であり、1館当たり225,184ポンド(日本円で3,941万円)である。地方別にみると以下のようにになっている。(日本円換算については2001年の為替相場の年平均値、1ポンド=175.00円として計算。)

公共図書館の年間総経費 (単位：ポンド)

区分	年間総経費	1館当り年間経費
イングランド地方	773,515,519	245,873
ウェールズ地方	37,261,086	118,666
スコットランド地方	95,738,065	170,656
北部アイルランド地方	24,396,772	163,737
UK全体	930,911,442	225,184

(20)自治体の負担額と広域自治体、政府の補助金、民間の寄付の額や比率について

図書館の収入について見てみると、UK全体の図書館の年間総収入額は105,580,509ポンド(日本円で184億7,659万円)である。同様に、イングランド地方の図書館の年間収入額は93,960,410ポンド(日本円で164億4,307万円)、ウェールズ地方では2,840,534ポンド(日本円で4億9,709万円)、スコットランド地方では6,917,123ポンド(日本円で12億1050万円)、北部アイルランド地方では1,862,442ポンド(日本円で3億2593万円)である。収入額の内訳は以下のとおりである。(日本円換算については2001年の為替相場の年平均値、1ポンド=175.00円として算出。)

公共図書館の年間収入額

区分	イングランド地方	ウェールズ地方	スコットランド地方	北部アイルランド地方	UK全体	
年間総経費	773,515,519	37,261,086	95,738,065	24,396,772	930,911,442	
うち年間収入	93,960,410	2,840,534	6,917,123	1,862,442	105,580,509	100.0%
延滞金	14,909,334	614,642	1,293,886	234,572	17,502,434	16.6%
取り置き手数料	1,975,190	60,033	110,047	19,368	3,489,058	3.3%
貸出料	2,999,615	146,177	264,683	78,583	22,537,602	21.3%
AV資料貸出料	21,097,535	324,073	974,216	141,788	3,488,458	3.3%
OPACなどの使用料	1,768,212	44,261	187,616	72,371	2,072,460	2.0%
特定の補助金	16,467,596	398,168	1,569,855	1,132,472	19,568,091	18.5%
他機関へのサービス料金	2,154,652	83,726	16,047	183,288	2,254,425	2.1%
個人からの寄付金等雑収入	22,518,785	667,294	1,867,880	—	25,237,247	23.9%
法人からの寄付金等雑収入	10,069,501	502,160	632,893	—	11,204,554	10.6%

(21) 人件費・図書購入費・建物設備維持費の3つの年間支出の割合について

図書館経費に占める人件費の割合は、UK 全体で 54.6%である。地域別にみると、イングランド地方では 53.9%、ウェールズ地方では 54.0%、スコットランド地方では、56.5%にあたる。北部アイルランド地方では 67.6%である。

図書館経費に占める設備維持費の割合は、UK 全体で 11.2%である。地域別にみると、イングランド地方では 10.9%であり、ウェールズ地方では 11.9%、スコットランド地方では 13.3%、北部アイルランド地方では 11.6%である。

図書館経費に占める資料費の割合は、UK 全体で 13.1%である。地域別にみると、イングランド地方では 13.1%、ウェールズ地方では 14.8%、スコットランド地方では 12.9%、北部アイルランド地方では 10.5%である。

人件費・設備維持費・資料購入費の状況 (単位：ポンド)

区分	人件費	建物設備維持費	資料購入費	総経費
イングランド地方	417, 120, 177 (53.9%)	84, 504, 116 (10.9%)	101, 183, 519 (13.1%)	773, 515, 519 (100%)
1館当り (3, 146館で)	132, 587	26, 861	32, 163	245, 873
ウェールズ地方	20, 110, 133 (54.0%)	4, 445, 972 (11.9%)	5, 508, 457 (14.8%)	37, 261, 086 (100%)
1館当り (314館で)	64, 045	14, 159	17, 543	118, 666
スコットランド地方	54, 121, 907 (56.5%)	12, 774, 707 (13.3%)	12, 371, 193 (12.9%)	95, 738, 065 (100%)
1館当り (561館で)	96, 474	22, 771	22, 052	170, 656
北部アイルランド地方	16, 498, 616 (67.6%)	2, 822, 957 (11.6%)	2, 570, 723 (10.5%)	24, 396, 772 (100%)
1館当り (149館で)	110, 729	18, 946	17, 253	163, 737
UK全体	507, 850, 833 (54.6%)	104, 547, 752 (11.2%)	121, 633, 892 (13.1%)	930, 911, 442 (100%)
1館当り (4, 170館で)	121, 787	25, 071	29, 169	223, 240

注：IMF の *International Financial Statistics Yearbook 2004* より、2001 年平均で 1 ポンド=175.00 円。

3. 図書館サービスについて**1. 利用者数と開館時間****(22) 公共図書館の年間利用者総数について**

公共財政機構 (Institution of Public Finance: IPF) の「図書館統計 2001-2002 (Public Library Statistics 2001-02 Actuals)」によれば、UK 全体の年間図書館利用者総数は 318,154,528 人である。

イングランド地方は 270,775,309 人、ウェールズ地方は 12,070,233 人である。スコットランド地方は 28,801,818 人、北部アイルランド地方は 6,507,168 人である。このほかに、在宅サービスを受ける利用者が、UK 全体で 123,407 人いる。

図書館利用者数 (単位：人、館)

区分	図書館利用者数		在宅サービス利用者数	IPF図書館統計による図書館数
		1館当り		
イングランド地方	270, 775, 309	86, 070	103, 616	3, 146
ウェールズ地方	12, 070, 233	40, 100	6, 542	301
スコットランド地方	28, 801, 818	51, 340	9, 244	561
北部アイルランド地方	6, 507, 168	51, 644	4, 005	126
UK全体	318, 154, 528	76, 960	123, 407	4, 134

(23) 図書館のサービスエリアの人口に占める割合（利用者登録率）について

UK における図書館利用状況統計の取り方が、必ずしも登録者数だけではないため、地域間で比較できるような数値を全国一律に取り出すことはできない。ただし、全体の傾向を把握するものとしては、1人当りの年間来館数と年間貸出回数がある。以下のとおりである。

1人当りの年間来館数と年間貸出回数（単位：回）

区分	年間1人当りの来館数	年間1人当りの貸出回数
イングランド地方	5.5	0.3
ウェールズ地方	4.1	0.4
スコットランド地方	5.7	0.3
北部アイルランド地方	3.8	0.3
UK全体	5.4	0.3

利用者登録率については、例えばイングランド地方のロンドンのシティ（Corporation of London）では、ロンドン中心部で郊外からの通勤通学者等が多いために、74.2%（53,421/7,200：登録者/居住人口）となっている。また、大都市ディストリクトのウェストヨークシャー（West Yorkshire）のウェイクフィールド（Wakefield）では、39.5%（124,682/315,200）となっている。ユニタリーのバース・北東サマセット（Bath and North East Somerset）では、23.9%（40,460/169,000）である。

ウェールズ地方のレクスアム（Wrexham）では、68.5%（88,065/128,500）である。スコットランド地方の東ダンバートンシャー（East Dunbartonshire）では29.6%（32,103/108,300）であり、北部アイルランド地方の北東部（North Eastern）では、31.6%（125,287/395,500）となっている。

(24) 利用者の年齢・性別・利用目的などの内訳について

利用者状況についてはその属性まで詳しくはないが、「図書館統計 2001-2002 (Public Library Statistics 2001-02 Actuals)」にまとめられている。UK 全体の傾向を示すものではないが、いくつかの公共図書館ごとの状況が掲載されている。

利用した状況についての項目は、図書やカセットテープ、CD、ビデオ、DVD、CD-ROM それぞれの貸出・返却・更新、新聞・雑誌閲覧、何か情報を探すため、コンピュータの利用、インターネットの利用、コピーの利用、ブラウジング、研究・業務、展示・イベント、その他となっている。傾向としては、図書の貸出し、返却・更新が、41～90%（ほとんどの館が70%以上）の間の値で最も多い。次に多いのが、ブラウジングで2～42%（ほとんどの館が30%以上）の値をとっている。この他、新聞・雑誌の閲覧、何かを見つけるなどが1～2割で比較的多い。

以下に示すのは主な地域ごとの状況である。

利用目的（2001年調査）

（単位：％）

区分	イングランド地方 ロンドンのシティ (City of London Corporation)	ウェールズ地方 ケアフィリー (Caerphilly)	スコットランド 地方 エディンバラ (Edinburgh)	北部アイルランド 地方 北東部 (North Eastern)
図書の貸出・返却・更新	56	78	63	74
カセットテープの貸出・返却	7	5	6	3
CDの貸出・返却・更新	16	4	13	3
ビデオの貸出・返却・更新	10	5	1	7
DVDの貸出・返却・更新	3	1	—	1
CD-ROMの貸出・返却・更新	1	1	—	—
新聞・雑誌閲覧	16	10	19	7
何か情報を探す	27	19	30	18
コンピュータの利用	8	4	—	14
インターネットの利用	4	4	—	22
コピーの利用	5	5	5	3
ブラウジング	42	33	34	37
研究・業務	13	4	12	7
展示・イベント	2	2	1	1
その他	3	7	11	1

このほか、利用者の属性については、個別の館で実施された利用者調査結果などから散見される。例えば、ロンドンのシティ（Corporation of London）では、レファレンスライブラリーである City Business Library で、利用者アンケートが実施され、次のような利用者属性が示されている。利用者は、49%がビジネスマン、26%が学生、25%がさまざまな属性の利用者である。40%がシティ内、40%がロンドンの他の地域、17%がロンドンの外、3%が UK の国外であった。回答者のおよそ 10%は 15 年以上シティライブラリーを利用し続けている者たちであると示されている。

(25) 夜間開館および開館時間数について

UK 全体で週に 60 時間以上開館している図書館は 36 館で、図書館全体の 0.9% しかない。もっとも数が多いのは、週当たり 10 時間から 29 時間開館する図書館であり、1,671 館（図書館全体の 40.1%）となっている。週あたり開館時間を地方別にみると次のようになる。

週当たり開館時間

（単位：館）

区分	イングランド 地方	ウェールズ 地方	スコットランド 地方	北部アイルランド 地方	UK全体
60時間以上	28 0.9%	3 1.0%	5 0.9%	0 0.0%	36 0.9%
45～59時間	493 15.7%	51 16.2%	175 31.2%	28 18.8%	747 17.9%
30～44時間	1,199 38.1%	98 31.2%	155 27.6%	45 30.2%	1,497 35.9%
10～29時間	1,311 41.7%	123 39.2%	187 33.3%	50 33.6%	1,671 40.1%
10時間以下	115 3.7%	36 11.5%	39 7.0%	—	190 4.6%
不明	—	3 1.0%	—	26 17.4%	29 0.7%
図書館数	3,146 100.0%	314 100.0%	561 100.0%	149 100.0%	4,170 100.0%

なお、近くに図書館がない地域で図書館の代替的な役割を担うブックモービル（BM）は 664 台あり、その

平均サービス時間は週 22 時間となっている。

地方別にみると、イングランド地方では BM は 473 台あり、その平均サービス時間は、週 22 時間である。ウェールズ地方では BM は 66 台あり、その平均サービス時間は、週 20 時間である。スコットランド地方では BM は 93 台あり、その平均サービス時間は、週 21 時間である。北部アイルランド地方では BM は 32 台あり、その平均サービス時間は、週 20 時間となっている。

2. 蔵書数および貸出数

(26)各段階の公共図書館の蔵書数の規模について

UK 全体の公共図書館の蔵書総数は、116,073,634 冊である。イングランド地方は、92,433,954 冊、ウェールズ地方は、6,764,984 冊、スコットランドは、3,170,579 冊、北部アイルランド 3,704,117 冊である。雑誌については、示されていない。

また、中央図書館、分館、ブックモービル (BM) ごとの蔵書内訳は公表されていないが、中央図書館、分館、BM を全部含めた 1 館 (台) 当りの蔵書は 24,192 冊であり、AV 資料やソフトウェアは 1 館 (台) 当り 1,733 点、大活字本は、1 館 (台) 当り 1,138 冊である。

地方別にみると以下のようにになっている。

1 館当りの蔵書数

区分	図書資料 (冊)	AV資料・ ソフトウェア (点)	大活字本 (冊)
イングランド地方	26,379	1,921	1,072
ウェールズ地方	20,407	1,119	1,023
スコットランド地方	26,379	1,634	814
北部アイルランド地方	23,443	1,321	458
UK全体	24,192	1,733	1,138

注：中央図書館、分館、BM を含む

(27)蔵書の内訳について

UK 全体の貸出用図書における成人用フィクション図書の割合は 36% であり、成人用ノンフィクションは 36% である。児童用図書は 28% を占める。

地方別の内訳は以下のとおりである。

蔵書の内訳

(単位：%)

区分	成人用 フィクション	成人用 ノンフィクション	児童用図書
イングランド地方	35	37	28
ウェールズ地方	39	32	29
スコットランド地方	41	30	29
北部アイルランド地方	34	32	34
UK全体	36	36	28

(28)各段階の公共図書館別の蔵書の年間受け入れ冊数について

IPF の「図書館統計 2001-2002 (Public Library Statistics 2001-02 Actuals)」によれば、UK 全体の受け入れ冊数 11,018,993 冊 (タイトル数 3,761,408)、1 館当りの平均受け入れ冊数は、約 2,665 冊である。雑誌・新聞は、全体で 65,938 タイトル (購入数 111,877 冊) を受け入れている。

地方別にみると以下のようにになっている。

蔵書の年間受け入れ数

区分	図書			新聞・雑誌			IPF図書館統計 による図書館数
	タイトル数	冊数		タイトル数	冊数		
		1館当り			1館当り		
イングランド地方	3,057,570	9,193,571	2,922	54,252	96,133	31	3,146
ウェールズ地方	218,266	483,289	1,606	2,243	3,481	12	301
スコットランド地方	433,001	1,174,718	2,094	7,588	9,326	17	561
北部アイルランド地方	52,571	167,415	1,329	1,855	2,937	23	126
UK全体	3,761,408	11,018,993	2,665	65,938	111,877	27	4,134

(29)各段階の公共図書館別の蔵書廃棄の実態について

UK 全体の公共図書館の蔵書廃棄数は、13,029,360 冊である。また CD、ビデオ、DVD、カセット、CD-ROM などの AV 資料の廃棄数は、1,295,307 点である。

図書館で不要になったこのような廃棄対象資料に関しては、本の販売 (Book Sale) という名称等で各図書館において安く販売されている。

地方別の内訳は次のとおりである。

蔵書の年間廃棄数

区分	図書資料の 廃棄数(冊)	AV資料の廃 棄数(点)
イングランド地方	10,797,678	1,120,182
ウェールズ地方	682,608	26,782
スコットランド地方	1,369,597	127,193
北部アイルランド地方	179,477	21,150
UK全体	13,029,360	1,295,307

(30)各段階の公共図書館別のデータベース保有率、平均保有件数について

UK においては、データベースなどのソフトウェアについては、(32) の音楽・映像関係の媒体別所蔵数に、CD-ROM・ソフトウェア・DVD として含まれており、データベース単独の数値については公表されていない。

なお、週 10 時間以上開館する図書館 3,951 館のうち、CD-ROM の情報リソース提供は 2,680 館で行われており、67% (4,170 館全体の 64%) にあたる。地方別にみると、イングランド地方は 2,027 館で 67% (全体の 64%)、ウェールズ地方は 221 館で 83% (全体の 73%)、スコットランド地方は 349 館で 66% (全体の 62%)、北部アイルランド地方は 83 館で 65% (全体の 65%) となっている。

(31)書籍・雑誌などの媒体別の年間貸出数について

貸出冊数は UK 全体で 23,975,000 冊であり、地方別の内訳は、イングランド地方 20,119,000 冊、ウェールズ地方 1,161,000 冊、スコットランド地方 2,156,000 冊、北部アイルランド 539,000 冊となっている。

(32)映画フィルム、DVD、CD などの媒体別の所蔵・貸出状況について

UK 全体の AV 資料の所蔵数は 8,317,000 点である。このうち、音楽資料は 3,141,000 点、録音図書 2,289,000 点、ビデオ 1,890,000 本、マルチメディア・オープンラーニングパック 75,000 点、CD-ROM・ソフトウェア・DVD 等 229,000 点、レファレンス資料 96,000 点、保存用資料 597,000 点となっている。

また、AV 資料の貸出し数については、音楽資料が 695,652 点、録音図書 791,915 点、ビデオ 456,304 本、マルチメディア・オープンラーニングパック 19,283 点、CD-ROM・ソフトウェア・DVD 等 60,173 点となっている。

地方別にみると次のとおりである。

AV 資料の所蔵状況

(単位：点)

区分	イングランド 地方	ウェールズ 地方	スコットランド 地方	北部アイルランド 地方	UK全体
音楽資料	2,408,000	157,000	460,000	116,000	3,141,000
録音図書	1,866,000	120,000	257,000	44,000	2,289,000
ビデオ	1,630,000	53,000	170,000	37,000	1,890,000
マルチメディア・オープンラーニングパック	51,000	4,000	19,000	1,000	75,000
CD-ROM/ソフトウェア/DVD等	190,000	8,000	32,000	1,000	229,000
レファレンス資料	75,000	4,000	14,000	3,000	96,000
保存用資料	512,000	22,000	56,000	7,000	597,000
合計	6,732,000	368,000	1,008,000	209,000	8,317,000

AV 資料の貸出状況

(単位：点)

区分	イングランド 地方	ウェールズ 地方	スコットランド 地方	北部アイルランド 地方	UK全体
音楽資料	548,794	35,939	96,496	14,450	695,652
録音図書	671,828	33,483	75,724	10,880	791,915
ビデオ	402,453	9,354	40,050	4,447	456,304
マルチメディア・オープンラーニングパック	14,327	836	3,907	213	19,283
CD-ROM/ソフトウェア/DVD等	52,879	2,248	4,993	53	60,173
合計	1,690,281	81,860	221,170	30,043	2,023,327

3. 図書館の各種サービス**(33) 図書館サービスに関する情報提供の方法について**

UK では、情報提供サービスについての数値統計は出されていない。しかしながら、公共図書館の情報発信は比較的広く行われており、多くの図書館設置団体単位でウェブサイトを活用した情報発信がなされている。それは、“The UK Public Libraries Page” というサイトで、200 あまりの図書館設置団体のウェブサイトへのリンクがはられていることからわかる。その情報発信の内容について見ると、例えば、ウェールズ地方のコンウィー (Conwy) の図書館設置団体のサイトでは、各図書館の住所、電話番号、電子メールアドレス、館の責任者名、サービス提供内容、開館日・開館時間、ウェールズ語と英語の利用案内リーフレット、図書館利用登録案内、Web-OPAC、貸出更新 (利用番号とパスワード要入力)、資料のリクエスト (利用番号とパスワード要入力)、会議室案内、コンピュータの利用案内などが掲載されている。

このほか、スコットランド地方のオークニー (Orkney) の図書館は、2 台の BM が図書館のない地域に向け、サービスを提供しているが、この BM サービス事業はサービスを提供するサービス・ステーションが館外ということもあって、天候に左右され雨天中止になることが多い。そのような時のためにも、前もって利用者へ知らせる方法として毎週月曜日から金曜日の 7 時半から 8 時に BCC ラジオで BM スケジュールを流している。

(34) インターネット等外部からの蔵書の有無、閲覧・貸出状況の確認について

館外からの蔵書情報の確認については、基本的に Web-OPAC で行うことができる。例えば、イングランド地方のベットフォードシャー (Bedfordshire) とルートン (Luton) では、共同の Web-OPAC を通じて、蔵書の有無、所蔵館、所蔵の書架、所蔵数、在館の有無が確認できる。また、図書館カード番号とパスワードを入力すれば、貸出し資料の更新、図書館からの伝言、資料の取り置き等を確認することができる。

ウェールズ地方のカーディフ (Cardiff) では、Web-OPAC を通じて図書館での蔵書の有無、所蔵館、所蔵数、貸出状況などが確認できる。また、利用者番号とパスワードを入力することで予約することもできる。

スコットランド地方のグラスゴー (Glasgow) の図書館の Web-OPAC では、所蔵の確認、予約の確認、所蔵館、書架での位置、貸出状況等を確認することができる。

北部アイルランドでは、ni-libraries.net というサイトが、北部アイルランド地方全体を網羅する Web-OPAC となっている。ここでは、蔵書の有無、所蔵館、所蔵の書架、所蔵数、貸出状況、予約数等が確認できる。ま

た、図書館利用者番号とパスワードを入力することで取り置きすることが可能である。

UK 全体の Web-OPAC 提供状況等のデータは(50)に記す。

(35) 地域情報の収集の状況について

北部アイルランド地方南部教育・図書館委員会 (Southern Education and Library Board) のポルタダウン (Portadown) 図書館の最上階に UK や北部アイルランドの政府刊行物や地域資料を集めた情報サービス部門がある。UK の電話帳や教育、地方政府の広報誌のほか、市民相談所により提供された情報もある。

また、イングランド地方のインナー・ロンドンのカムデン (Camden) の図書館では、地域情報データベースとして、シンデックス (Cindex) サービスを提供している。シンデックスは、ロンドン地域カムデン地域情報システムの愛称である。このほか、カムデンの図書館では、利用者の生活を支援するための地域情報サービスを提供している。例えば教育や仕事情報、市民権、雇用法や健康などについての情報である。

(36) 地域内の大学等の諸機関との連携について

公共図書館と大学との連携は、イングランド東部やイースト・ミッドランド (East Midlands) 地域図書館システムにおける協同が事例として見られる。このほかまた、ウェスト・ミッドランド (West Midlands) では、イングランド地方の 14 の図書館設置団体と 11 の高等教育機関が、図書館情報サービスを共に行っていくウェスト・ミッドランド図書館パートナーシップ (The Libraries Partnership West Midlands: WM) に取り組んでいる。この取り組みでは、電子コンテンツの開発・配布、公共図書館における読書推進などの事業が進められている。

(37) 障害者向けの図書館サービスの全国的なシステムや媒体の整備状況について

UK における視覚障害者への図書館サービスは、ボランティア組織を中心とするさまざまな組織や団体が担っている。このサービスは、対象者の特定が困難であること、連携がうまくいかない等の問題点もあげられている。なお 2000 年 4 月から、英国視覚障害者図書館 (National Library for the Blind: NLB) と王立英国視覚障害者援護協会 (Royal National Institute for the Blind: RNIB) が協同して、視覚障害者へのサービスの改善を図っている。

スコットランド地方シェットランドの図書館においては、自宅に療養している人々や病院などの施設にいる人々に対しサービスを提供している。

北部アイルランド地方において、視覚障害者への指導の認定を受けた 3 名が、コンピュータ・スキルをサービス対象者の元へ (家や施設へ) 行き、指導を行っている。北部アイルランド地方のベルファスト図書館・教育委員会 (Belfast Education and Library Board) を設置母体とするリスバーンロード (Lisburn Road) 図書館、ニューズペーパー (Newspaper) 図書館、オールドパーク・ロード (Oldpark Road) 図書館 の 3 館には、障害者専用の設備 (Disabled Access) が備わっていないが、その他の 19 館にはこの施設があることがウェブサイト調査において明らかになった。この地域では、2 台の BM を使用したアウトリーチサービス事業が行われている。この他に、本や情報サービス、大活字本等の資料のサービスを提供している。

大活字本の所蔵冊数は、UK 全体で 5,460,358 冊である。地方別にみると、イングランド地方の大活字本の所蔵冊数は 4,548,595 冊、ウェールズ地方では 338,712 冊、スコットランド地方では、500,657 冊、北部アイルランド地方では 720,394 冊となっている。このほか録音図書も、障害者向けの資料として整備されているもののひとつである。

(38) 在留外国人の母語に対応した図書の配備状況について

外国人向けの資料についての統計的なデータはないが、移民の多い UK では、大きな公共図書館で比較的多様な言語の資料を揃えている。例えば、イングランド地方のマンチェスター (Manchester) 図書館においては、多文化サービスが実施されている。7,500 冊以上もの図書が用意され、種々さまざまな言語で書かれた図書が用意されている。言語の種類は、アルバニア語、アラビア語、ベンガル語、デンマーク語、オランダ語、ペルシア語、フランス語、ドイツ語、ギリシア語、ヘブライ語、ヒンディー語、アイルランド語、イタリア語、

日本語、クルド語、ノルウェー語、パンジャブ語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ソマリ語、スウェーデン語、トルコ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語、ウェールズ語、インドアリア系言語 (Gujerati) アフガニスタン人公用語 (Pushto) の 30 言語以上にのぼっている。

さらに同図書館においては、カセット、CD、ビデオなどの資料も多数の言語のものが用意されている。その言語数は英語も含め実に 70 ヶ国語で用意され資料が充実している。それら AV 資料は、アフリカンス語、アルバニア語、アムハラ語、アラビア語、アルメニア語、バスク語、エスペラント語、ラテン語、ヒンディー語、ポルトガル語、タイ語、ウェールズ語、アイルランド語、日本語等のものが揃えられている。

(39) 子どもの読書活動の振興や読書指導の状況について

UK では、1988 年の教育改革法 (Education Reform Act 1988) によって全国共通カリキュラム (National Curriculum) が導入され、リテラシーの水準を向上させることに力が注がれてきた。リテラシー向上への高まりの中でブックスタートが、1992 年バーミンガムにおいて開始された。当初は、児童に文字を覚えさせるなどの目的で、メッセージを添え、絵本をプレゼントすることから着手された。

その後の 1996 年、UK では、読書は基本 (Reading is Fundamental) が設立され、0 歳から 19 歳の青少年を対象とした読書指導に重点を置いた政策がとられた。その 2 年後の 1998 年、UK 全体のすべての初等教育においてリテラシー時間の実施が義務付けられている。この政策を支援するため、UK 読書年 (National Year of Reading: NYR) が各地でキャンペーンを行った。さらに 2002 年 10 月 16 日、図書館・情報専門家協会 (CILIP) は、スタート・ウィズ・ザ・チャイルド (Start with the Child) を発表した。この中で特に「サマー・リーディング・チャレンジ」 (Summer Reading Chareng) や「ブックスタート」 (Book Start) のようなプロジェクトを重視している。以上のような背景もあり、各地方の図書館において読書活動が展開されている。現在では、多くの図書館で実施されている。

その他、UK において読書対策は国家をあげて実施されており、例えば、スコットランド地方のオークニー (Orkney) の図書館では、子どもへのサービスとして、新生児から 12 歳までの子どもを対象としたブックスタートに着手している。子どものころから本に囲まれた環境で過ごすことで、本に関心を持ってもらうことがこの事業の目的である。乳児のためのブックスタート (0 歳児)、ブックスタートプラス (0 歳児以上) の 2 種類のものがあり、毎月第 1 土曜日にストーリー・セッションを実施している。この図書館では、ワークショップの提供や、図書館員が子どもの通う学校や教師に、子どものニーズを聞くために訪問し、読み聞かせなどを行っている。同様にシェットランド (Shetland) の図書館においても就学前の子どもに対して、ブックスタートを開始している。

イングランド地方カムデン (Camden) の図書館では、乳幼児のための読み聞かせが行われている。また、同図書館では、子どもが利用できるサービスネットサーフィンを用意している (子ども専用図書館 OPAC、ヤングキャット (Young Cat) がある)。子ども向けの本、テープ、ビデオ、雑誌やコミックの閲覧などを提供、子どもの宿題の支援、さらには両親へ子供の読書アドバイスを行っている。また、小学校が休みの期間中は、図書館側が活動やイベントを主催しており、サービスが充実している。ノーサンバーランド (Northumberland) 図書館でも、本を読むことを習慣づける取り組みが行われ、夏期休業中に読んだ本をまとめ、毎年開催されるブックフェスティバルの中で発表を行っている。

北部アイルランド地方は、図書館・情報専門家協会が発表した「サマー・リーディング・チャレンジ」を受け児童への読書対策が行われている。就学前の子どもに対してはヘッドスタート (Head Start) が行われており、その例としてバンガー (Bangor) 図書館では、ブックスタートとシュア・スタート (Sure Start) が実施されている。

(40) その他各種事業 (映画会など) の実施状況について

北部アイルランド地方の南東教育・図書館委員会 (South Eastern Education and Library Board) のニューカッスル (Newcastle) 図書館では、ヘイゼルスタンプアート (Hazel Stumpf Art Exhibition) が図書館で展示されている。また、地域の行事として、読書会 (Reading Group) を開催している。この読書会の日時やイベントに関しては、ウェブサイト上にその情報をのせ、地域の人々へ PR を呼びかけている。同じ設置団体

を母体とするコリングレン (Colin Glen) 図書館では、インドに関する展示を図書館で開催している。北部アイルランド地方の南東教育・図書館委員会のバンガー (Bangor) 図書館では、クリスマス時期に、地域イベントとして、お話し会やクリスマス・イベントが行われている。

4. 図書館職員の状況

1. 職員数、資格制度、研修等

(41) 公共図書館の職員数（専任・兼任・非常勤の別など）について

UK では図書館職員数はフルタイム換算で公表している。非常勤職員の数は頭数ではなく、常勤職員の一日当たり平均労働時間をもとに換算されるため、それ以上の詳細は明らかではない。また、館長や男女比については公表されていない。

UK 全体の公共図書館職員数は、25,724 人、うち専門職は 6,145.2 人、その他の職員は 19,578.8 人となっている。

地方別にみると次のとおりである。

職員数	(単位：人)		
区分	専門職員	その他の職員	合計
イングランド地方	5,135.1	15,864.2	20,999.3
ウェールズ地方	263.8	821.4	1,085.2
スコットランド地方	611.6	2,249.2	2,860.8
北部アイルランド地方	134.7	644.0	778.7
全体	6,145.2	19,578.8	25,724.0

(42) 司書資格の難易・給与との関係、年間司書資格取得者数と就職者数について

UK における司書の資格は、最終的には CILIP (Chartered Institute of Library and Information Professions: 図書館・情報専門家協会) が認定している。UK では 1893 年司書養成教育が始められ、高等教育機関での司書養成は、1919 年ロンドン大学にライブラリー・スクールが開設されて始まった。

2002 年 4 月に LA (Library Association) と IIS (Institute of Information Scientists) が統合され CILIP となったが、その結果、2004 年 12 月末が専門職認定の移行的な手続きを踏む期間として位置づけられ、非専門職の会員やチャーター会員を対象とする資格のあり方を見直すためのプロジェクトを進めており、2005 年 3 月までに資格の新しい枠組みが構築される予定となっている。

2003 年 4 月には、「情報専門家」になるための多様なルートがあることが CILIP のウェブサイトの Job & Careers のページに発表されている。また、CILIP では、司書になるための 3 つのルートを紹介している。
(http://www.cilip.org.uk/jobs_careers/employ.html)

- ① 学部卒業後、CILIP 公認の情報学分野の大学院に進むルート
- ② 図書館で準専門職を経験してから認定大学院に進むルート
- ③ 他分野の大学院の修士・博士課程から直接専門職を目指すルート

有資格の司書は、CILIP のメンバーまたはフェローとして承認されている。メンバーとして承認される前提として、認定された大学院で課程を修了することが必要と記されている。

大学院修了後、専門的能力開発プログラムを受ける。認定を受けようとするものは、専門職スキルが修得されていることを示すレポート提出の必要がある。その上で審査を受けて、認められれば会員となり、すなわち司書の資格を得られたということになる。

CILIP に認可された大学のリスト (18 校) は以下のとおりである。

CILIP に認可された大学のリスト

地名	大学名	E-mail	Web
アバディーン	The Robert Gordon University	slis@rgu.ac.uk	www.rgu.ac.uk
アベリストウイス	University of Wales	jye@aber.ac.uk	www.dil.aber.ac.uk
バーミンガム	University of Central England Birmingham	sis.@uce.ac.jp	www.cie.uce.ac.uk
ブライトン	University of Brighton	p.g.b.enser@bton.ac.uk	www.cmis.brighton.ac.uk
ブリストル	University of Bristol	cathy.badley@bris.ac.jp	www.bristol.ac.uk/education/ilm
エディンバラ	Napier University		www.soc.napier.ac.jp
	Queen Margaret University	gmcuerdo@qmuc.ac.uk	www.qmced.ac.uk
グラスゴー	Department of Computer & Information Sciences Livingston Tower	gsi-enquiries@cis.strath.ac.uk	www.gsi.strath.ac.uk
リーズ	Leeds Metropolitan University	I.bilby@lmu.ac.uk	www.lmu.ac.uk
リバプール	Liverpool John Moores University	a.j.farrow@livjm.ac.uk	http://cwis.livjm.ac.uk/bus/cilm
ロンドン	The City Unvers	pquire@soi.city.ac.uk	www.soi.city.ac.uk
	University college London	k.michaels@ucl.ac.uk	www.ucl.ac.uk
	London Metropolitan University	admissions.north@londonmet.ac.uk	www.londonmet.ac.uk
	Thames Valley University	learning.advice@tvu.ac.uk	www.tvu.ac.uk
ラフバラ	Loughborough University	h.l.rees@lboro.ac.uk	www.lboro.ac.uk
マンチェスター	Manchester Metropolitan University	infcomms-hums@mmu.ac.uk	www.mmu.ac.uk
ニューカッスル	Northumbria University	il.admin@northumbria.ac.uk	http://online.northumbria.ac.uk/faculties/art/information_studies
シェフィールド	The University of Sheffield	dis@sheffield.ac.uk	www.shef.ac.uk

UK において、年間の司書資格取得者数、就職者数の統計データは見あたらない。なお、給与については、参考資料が出されている。公共図書館職員の給料は、全国合同協議会での労使交渉によって決まる。地方自治体は、全国レベルで決められた給料表の枠のなかで、特定のポストの給与を決定する権限を持っている。CILIP の Salary Guide: LA では、1993 年 7 月 1 日から適用の特別行政職給料表（イングランド・ウェールズ）において詳細な報告が出されている。一番最近のものとして、2003 年 4 月のものを挙げる。

特別行政職の給料（最低）

図書館長（Head of Libraries）	40,000 ポンド
上級専門職（Specialist Post）	23,358 ポンド
LIS の資格を持った図書館員	16,944～24,726 ポンド
管理職（Operational Staff） （Operation Staff with Specific Responsibilities）	16,944～22,689 ポンド
司書捕（Library Assistant）	10,278～16,515 ポンド

（IMF の *International Financial Statistics Yearbook 2004* より、2003 年平均で 1 ポンド=189.48 円）

(43) 公共図書館現職職員の研修プログラムについて

CILIP（図書館・情報専門家協会）は、基礎から最先端のトピックまでをカバーする研修を実施しており、申し込みの形式は、CILIP のウェブサイト上からダウンロードすることができる。いくつか研修の内容を紹介すると、CILIP と NOF（New Opportunities Fund）が連携し、公共図書館職員のための研修として情報通信技術プログラム（ICT）を実施している（IT トレーニング）。

この研修において、図書館員は NOF が設定した修了要件を満たすよう課題に取り組む形式になっている。NOF と連携した ICT プログラム研修を通して、図書館職員は ICT を図書館に取り入れたり、利用者支援に導入したりするための技術を身に付けることができる。また、「よりよい公共図書館サービスに向けた戦略的マーケティングプランの創造」として 2 日間にわたって、図書館利用者を顧客としてとらえ、動向を探る技術を学ぶ内容の研修も実施されている。

2. ボランティアの登録・活動の状況

(44) 公共図書館で活動しているボランティアについて

2000年6月にCILIPの前身であるUK図書館協会(Library Association)から出された「公共図書館におけるボランティアの活用」(The Use of Volunteer in Public Libraries)という報告書によれば、ボランティアの活用状況は地方により異なる。調査対象が209設置団体と、公共図書館全体の一部でしかないが、この範囲では、UK全体で75%(137/209)の図書館がボランティアを活用していることがわかる。イングランド地方(ロンドン特別区: London Boroughを除く)では、85%がボランティアを活用している。ロンドン特別区では39%である。スコットランド地方では82%である。ボランティアの活動内容は、さまざまな分野で実施されている。例えば、ボランティアを行っている図書館設置団体137のうち宅配サービスは、103の団体(75%)で実施されており、もっともよく行われているボランティア活動である。この他にも、病院サービス29団体(21%)、お話し会19団体(13%)、新聞索引作成15団体(10%)、IT支援13団体(9%)等が実施されている。

例えば、イングランド地方のシュロップシャー(Shropshire)では、図書館友の会(Friends of Libraries Groups)が、ボランティア活動を実施している。活動内容は、療養などで、家から図書館に来ることができない人のための宅配サービスを実施している。このほか、資金調達、コミュニティにおいて図書館の特徴を目立たせること、図書館施設の利用促進、社会的催し、文学的催しの調整などを実施している。

1館当たりボランティアの登録数(活動別人数)を示すようなデータは見あたらない。しかし、上記調査でボランティアを実施している設置団体のうち、宅配サービスに関するボランティア規模は公表されている。宅配サービス・ボランティアが1~50人いる設置団体は約60%強、ボランティアが51~100人いる設置団体は約15%、ボランティアが101~150人の設置団体は約10%、ボランティア規模151~200人の設置団体は約4%である。ボランティアを201人以上擁する設置団体は10%ある。

このように、UKでは図書館ボランティアが重要視されているが、ボランティアを導入する最大の理由は、予算削減で縮小された公共図書館の運営を助けるなど図書館の運営のある一部を担うという点である。これは、図書館設置団体等がボランティア活動に期待するのが、図書館機能の支援だけでなく、図書館サービスに価値を付加するという点であることから明らかである。しかし、ボランティアに与えることができる、また与えるべき責任の重さが課題となっている。

5. 図書館の設備、情報化等の整備状況

1. 各種施設・設備の設置状況

(45) 各種の施設・設備(閲覧室、書庫、児童室、対面朗読室など)の状況について

UKの図書館のフロア実面積(総面積)は1,385,276㎡(2,141,896㎡)である。また、イングランド地方は1,067,239㎡(1,570,389㎡)、ウェールズ地方は66,140㎡(95,452㎡)、スコットランド地方は211,246㎡(410,505㎡)、北部アイルランド地方は40,651㎡(65,550㎡)である。これを人口千人あたりの図書館のフロア正味面積に換算すると、UKで27.75㎡、イングランド地方は22㎡、ウェールズ地方は23㎡、スコットランド地方は42㎡、北部アイルランド地方は24㎡となっている。

また、各設の状況については、イングランド地方のインナー・ロンドン(Inner London)のサザック(Southwark)のペッカム(Peckham)図書館では、建物の5・6階が図書館になっており、5階には、児童室、カウンター、作業室、コンピュータコーナー、エレベーター等がある。6階は、子ども活動室と多目的会議室、エレベーター等がある。

(46) スロープ、トイレなど、車椅子利用者用の設備の整備状況について

UKにおいて図書館施設内での車椅子利用者可能性に関する調査データはない。しかし、図書館設置団体ご

とのウェブサイトにもまとめられた各図書館の紹介をみていくと、ある程度、図書館施設内の車椅子利用者について意識され、設備が整えられている状況を把握することができる。例えば、北部アイルランド北東部教育・図書委員会 (North Eastern Education and Library Board) においては、37 館中 28 館が障害者用の施設 (Disabled Access) を備えていた。ランドルスタウン (Randalstown) 図書館では、障害者用のトイレを図書館に備え、バリアフリーを目指している。また、同様に北部アイルランド南部教育・図書委員会 (Southern Education and Library Board) においても、26 図書館中 18 館が障害者用の施設を備えており、中でも、アーマー (Armagh) 図書館においては、障害者用の駐車場も整えていた。同様に、ニューリー (Newry) 図書館においても障害者用の駐車場を設けている。

2. コンピュータの設置・活用状況およびインターネットの活用

(47) コンピュータの設置状況 (職員用・利用客用) について

UK の公共図書館に設置されている Web-OPAC、インターネットへのアクセス、CD-ROM 利用のための端末総数は、市民用 23,504 台である。このうち、イングランドでは 19,162 台、ウェールズでは 1,279 台、スコットランドでは 2,539 台、北部アイルランドでは 524 台の端末が設置されている。市民用コンピュータ端末を 1 館あたりに換算すると、UK 全体で 5.7 台、イングランド地方 6.1 台、ウェールズ地方 4.2 台、スコットランド地方 4.5 台、北部アイルランド地方 16.4 台となっている。

職員用の端末は、UK 全体で 18,919 台である。このうち、イングランドでは 15,974 台、ウェールズでは 685 台、スコットランドでは 1,931 台、北部アイルランドでは 329 台の職員用端末が設置されている。職員用の端末を 1 館あたりに換算すると、UK 全体で 4.6 台、イングランド地方 5.1 台、ウェールズ地方 2.2 台、スコットランド地方 3.4 台、北部アイルランド地方 10.2 台となっている。

(48) インターネットの利用やセキュリティ保持の状況について

週 10 時間以上開館する図書館 3,951 館のうち、インターネットのアクセス環境を提供しているのは 3,038 館で、77% (4,170 館全体の 73%) となっている。地方別にみると、イングランド地方が 2,416 館で 80% (全体の 76%)、ウェールズ地方が 215 館で 81% (全体の 71%)、スコットランド地方が 350 館で 67% (全体の 62%)、北部アイルランド地方が 57 館で 45% (全体の 45%) の整備率である。

なお、Web-OPAC の提供がなされているのは 2,386 館である。詳細は(50)に記す。

一方、市民の情報アクセサビリティを高めるためのインターネット等の講習指導に関し、UK 全体で取り組んでいる情報政策についての報告は見られなかったが、設置団体ごとの政策を概観するとさまざまに組み込まれていることがわかる。例えば、北部アイルランド地方の南東部教育・図書委員会 (South Eastern Education and Library Board) のバンガー (Bangor) 図書館では、イーウィーク (E-week) と称されるコンピュータのスキルを向上させるための講習会を実施している。この講習は、1993 年 3 月から開始され、すべて無料になっている。

また、スコットランド地方シェトランド (Shetland) では、図書館が生涯学習の場として広くさまざまな人々に向けサービスを提供するオープンラーニングを実施している。この図書館には、16 台のパソコンがあり、無料でインターネットを使用できる他、Eメールやホットメール、ワープロ、エクセル、などさまざまな機能も用途に合わせ使用することができる。さらに、パソコンの付属品であるスキャナーやコピー機なども充実している。

イングランド地方のノーサンバーランド (Northumberland) においても、情報通信技術 (Information and Communications Technologies: ICT) 教育が行われている。

(49) 利用者のパソコン用の電源と情報端末の整備状況について

利用者が持ち込むノートパソコン用の電源の状況についての統計報告は見られない。

(50) Web-OPAC やデータベースの利用とオンライン・レファレンスの実施について

UK では、各種ウェブサイト上に、図書館に関連するサービス (Ask a Librarian や地域の読書関係のサイト等) へのリンク集などが数多く見られる。Web-OPAC については、UK 公共図書館の網羅的なホームページリンクサイトである The UK Public Libraries Page において、167 の図書館設置団体などへのリンクがあり、多くの図書館で Web-OPAC を提供していることがわかる。

統計上は、週 10 時間以上開館する図書館 3,951 館において、Web-OPAC を提供している館は 3,033 館となっている。これは、週 10 時間以上開館する図書館の 77% (10 時間以下の図書館も含めた 4,170 館全体の 73%) である。地方別にみると、イングランド地方では 2,386 館で 79% (全体の 76%)、ウェールズ地方は 195 館で 71% (全体の 62%)、スコットランド地方は 392 館で 75% (全体の 70%)、北部アイルランド地方は 60 館で 49% (全体の 40%) である。

レファレンスについては、UK では「公共図書館も参考室を持ち、レファレンスサービスを行うが、バーミンガムやマンチェスター等の図書館では商工業に関する充実した蔵書を備え、ビジネス情報を提供するとともに、専門職による有料のデータベースを用いて直接の情報提供を行う」というように、伝統的に高度なレファレンスサービスが実施されてきた。最近では、Web を活用したオンライン・レファレンスも UK の多くの公共図書館で実施されている。例えば、多くの図書館で必ずといってよいほどリンクに入れられているのは、先述した「ライブラリアンに聞こう」(Ask a Librarian) というサイトである。これは 1 日 24 時間、1 年 365 日のオンラインの電子的レファレンスサービスである。参考質問がオンラインで送られ、当番の図書館に自動的に転送される。そして、当番館が直接、質問者に対して回答する事業である。

これ以外にも、それぞれの図書館のウェブサイト上でオンライン・レファレンスの案内が表示されている。例えば、イングランド地方のロンドンシティのビジネス図書館 (City Business Library) では、月曜日から金曜日の (午前 9 時 30 分から午後 5 時までの) 図書館開館時間内で、E メールと電話レファレンスサービスを実施している。ビジネスに関する問い合わせ事項を簡潔に回答している。そのレファレンス対応内容は、住所・電話番号・氏名・Fax 番号、ウェブサイトアドレス、E メールアドレス等や組織、協会、団体、出版社の所在地、最近の新聞の項目調査、雑誌記事の検索などである。そのほか、主要なビジネストピックをカバーしており、会社の年間レポートの所蔵の有無確認や調査・研究を進める上で必要な情報を提供可能か、5 年以内の新聞、雑誌記事が利用可能かの確認にも対応している。

<参考文献・ウェブサイト>

(1)

- ・ 財団法人自治体国際化協会, 『英国の地方自治 - LOCAL GOVERNMENT OF UNITED KINGDOM』, 東京, 自治体国際化協会, 2003, pp.1-36
- ・ 西川肇, 『改革を続ける英国の図書館 - 最新事情・見学報告』, 東京, リブリオ出版, 2003, pp.9-13

(2)

- ・ The British Library, “ABOUT US”, The British Library Board, (online), available from <<http://www.bl.uk/about/listings.html>>, (accessed 2004/8/14)
- ・ The British Library, “Reaching the Regions”, The British Library Board, (online), available from <<http://www.bl.uk/about/cooperation/reachingregions.html>>, (accessed 2004/12/19)
- ・ “British Library/AEMLAC Reaching the Regions Programme”, (online), available from <<http://www.bl.uk/about/cooperation/pdf/reachingsefinal.pdf>>, (accessed 2004/12/19)
- ・ Audrey Marshall Dina Thorpe, “British Library/AEMLAC Reaching the Regions South East Final Report-Project Office”, (online), available from <<http://www.bl.uk/about/cooperation/pdf/reachingsefinal.pdf>>, (accessed 2004/12/19)

(3)

- ・ 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR REPORT 英国の公共図書館』, 東京, 自治体国際化協会, 1995, pp.7-8
- ・ 西川肇, 『改革を続ける英国の図書館 - 最新事情・見学報告』, 東京, リブリオ出版, 2003, pp.14-19
- ・ Hewitt, A. R, “Public Library Law”, London, 1975, p.109
- ・ Thomas Smith, ed., “The laws of Scotland: Stair memorial encyclopaedia”, Edinburgh: The Law Society of Scotland: Butterworths, Vol.12, 1988, pp. 633-641
- ・ Thomas Smith, ed., “The laws of Scotland: Stair memorial encyclopaedia”, Edinburgh: The Law Society of Scotland: Butterworths, Vol.13, 1992, pp. 326-327
- ・ Halsbury Hardinge Stanley, “Giffard Halsbury’s Statutes of England and Wales”, Vol.24, 1998, pp.145-255, pp.320-321
- ・ Halsbury Hardinge Stanley, “Giffard Halsbury’s Statutes of England and Wales”, Vol.25, 2001, pp.1012-1013
- ・ 金容媛, 『図書館情報政策』, 東京, 丸善株式会社, 2003, pp.130-131
- ・ Belfast Education and Library Board, “Annual Report 2001-2002”, (online) available from <<http://www.belb.org.uk/publications/Default.asp?viewby=show&id=220>>, (accessed 2004/12/19)
- ・ SEELB, “The PLUS 2003 Survey what it tells us and what we intend to do about it Report and Action Plan”, 2004, (online) available from <<http://www.belb.org.uk/publications/Default.asp?viewby=show&id=220>>, (accessed 2004/12/19)

(4)

- ・ DCMS, “Framework for the Future: Libraries, Learning and Information in the Next Decade”, DCMS, (online), available from <http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2003/framework_future.htm>, (accessed 2004/10/20)
- ・ 財団法人自治体国際化協会, 『英国の地方自治 - LOCAL GOVERNMENT OF UNITED KINGDOM』, 東京, 自治体国際化協会, 2003, p.36
- ・ 英国図書館情報委員会情報技術ワーキング・グループ, 『新しい図書館—市民のネットワーク』, 永田治樹訳, 東京, 日本図書館協会, 2001, p.131
- ・ Museums Library Archives, “The People’s Network”, MLA, (online), available from <<http://www.mla.gov.uk/action/pn/00pn.asp>>, (accessed 2004/8/14)
- ・ Museums Library Archives, “The People’s Network—online services from England’s public Libraries”,
- ・ Museums Library Archives, (online), available from <<http://www.mla.gov.uk/action/pn/services.asp>>, (accessed 2004/8/14)
- ・ Big Lottery Fund, “Big will be Better”, (online), available from <<http://www.biglotteryfund.org.uk/>>,

(accessed 2004/8/14)

- DCMS, "Annual Report 2004", DCMS, (online), available from
<http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2004/Annual_Report_2004.htm?properties=archive%5F2004%2C%2Fglobal%2Fpublications%2Farchive%5F2004%2F%2C&month=>, (accessed 2004/12/23)

(5)

- IPF, "Public Library Statistics 2001-02 Actuals", London, 2003, p.154
- Conwy County Borough, "Library Locations", Conwy, (online), available from
<<http://www.conwy.gov.uk/sectionextra.asp?cat=917>>, (accessed 2004/10/8)
- SEELB, "Community Languages Policy", SEELB Library Service, (online), available from
<[http://www.seelb.org.uk/libraries/download/Community%20Languages%20Policy%20\(draft\).pdf>](http://www.seelb.org.uk/libraries/download/Community%20Languages%20Policy%20(draft).pdf>),
(accessed 2004/10/8)

(6)

- Conwy County Borough, "Library Locations", Conwy, (online), available from
<<http://www.conwy.gov.uk/sectionextra.asp?cat=917>>, (accessed 2004/10/8)
- SEELB, "Community Languages Policy", SEELB Library Service, (online), available from
<[http://www.seelb.org.uk/libraries/download/Community%20Languages%20Policy%20\(draft\).pdf>](http://www.seelb.org.uk/libraries/download/Community%20Languages%20Policy%20(draft).pdf>),
(accessed 2004/10/8)

(7)

- Leicestershire County Council, Public Library Position Statement and Standards Report 2004", (online), available from<<http://www.leics.gov.uk/index/community/libraries.htm>>, (accessed 2004/10/19)
- Leicestershire County Council, "The EMRLS Partnership Agreement" , (online), available from
<http://www.leics.gov.uk/index/community/libraries/policy_documents/emrls_partnership_agreement.htm>,
(accessed 2004/10/19)
- EMRLS, "Library&Information East Midlands", (online), available from
<<http://www.liem.org.uk/index.asp?sortby=d&>>, (accessed 2004/10/19)
- Ask a Librarian, "About Ask a Librarian", (online), available from
<<http://www.ask-a-librarian.org.uk/aboutask.html>>, (accessed 2004/10/19)
- Co-east, "Library&Information East Midlands", Library co-operation&Connection in the East of England, (online), available from <<http://www.co-east.net/index.html>>, (accessed 2004/10/19)
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR REPORT 英国の公共図書館』, 東京, 自治体国際化協会, 1995, pp.42-43

(8)

- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR REPORT 英国の公共図書館』, 東京, 自治体国際化協会. 1995, pp.42-43
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR SUMMARY-英国における民間活力導入政策 (速報版) - The Private finance Initiative』, 1998, p.33
- T.&E. ケリー, 『イギリスの公共図書館』, 原田勝, 常盤繁訳, 東京, 東京大学出版会, 1983, p.286
- Black, A., Muddiman, D, 『コミュニティのための図書館』, 根本彰, 三浦太郎訳, 東京, 東京大学出版会, 2004, p.252
- SEELB, "Library Services", (online), available from<<http://www.seelb.org.uk/libraries/intro.htm>>,
(accessed 2004/10/19)
- Walsall Libraries, "Mobile Library Service", (online), available from
<[http://www.walsall.gov.uk/libraries/>](http://www.walsall.gov.uk/libraries/), (accessed 2004/12/23)

(9)

- Hewitt, A. R, "Public Library Law", London, 1975, p.109
- 西川肇, 『改革を続ける英国の図書館 - 最新事情・見学報告』, 東京, リブリオ出版, 2003, pp.17-18
- DCMS, "Framework for the Future: Libraries, Learning and Information in the Next Decade", DCMS, (online), available from <http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2003/framework_future.htm>,
(accessed 2004/12/23)

(accessed 2004/10/20)

- Thomas Smith, ed., “The laws of Scotland: Stair memorial encyclopaedia”, Edinburgh: The Law Society of Scotland: Butterworths, Vol.12, 1988, pp.633-641
- Thomas Smith, ed., “The laws of Scotland: Stair memorial encyclopaedia”, Edinburgh: The Law Society of Scotland: Butterworths, Vol.13, 1992, pp.26-327
- Halsbury Hardinge Stanley, “Giffard Halsbury's Statutes of England and Wales”, Vol.24, 1998, pp.145-255, pp.320-321
- Halsbury Hardinge Stanley, “Giffard Halsbury's Statutes of England and Wales”, Vol.25, 2001, pp.1012-1013

(10)

- Public Lending Right, “Payment”, PLR, (online), available from <http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2003/framework_future.htm>, (accessed 2004/12/13)
- Flint, M. F., 『イギリス著作権法』, 高橋典博訳, 東京, 木鐸社, 1999, pp. 258-273

(11)

- Public Lending Right, “Payment”, PLR, (online), available from <http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2003/framework_future.htm>, (accessed 2004/12/13)
- ni-libraries. net, “Title reservation for : focus on Japan”, (online), available from <http://opac.ni-libraries.net/cgi-bin/nireland.vps.sh?session_no=177547&enqtype=PHRASETITLENEXT&enqpara1=selfreservation&page=0&no_of_results=00000009&authorpage=&rcn=0750207434&sec_code=1&media_code=2&sec_stng=&media_stng=>>, (accessed 2004/11/5)
- Cornwall County Council, “Cornwall Library Service Annual Library Plan 2002-2003”, (online), available from <<http://www.cornwall.gov.uk/library/alp2002-2003/plan9a.ht>>, (accessed 2004/12/19)
- 日本書籍出版協会・出版年間編集部編, 『日本書籍総目録・出版年鑑』, 東京, 株式会社出版ニュース社, 2004, p. 355
- 日本出版学会編, 『白書出版産業：データとチャートで読む日本の出版』, 文化通信社, 東京, 2004, p. 69

(12)

- 松井一子, 英国公共図書館の基準, 政府案発表, 『カレントアウェアネス』, CA1335, No. 251, 2000年7月20日, (オンライン), 入手先 <<http://www.ndl.go.jp/jp/library/current/no251/doc0004.htm>>, (参照 2004/12/19)
- Northumberland County Council, “Providing for the cultural and Information needs of Northumberland Annual Library Plan”, Northumberland Record Office, (online), available from <<http://www.northumberland.gov.uk/%5Cdrftp%5C4715.doc>>, (accessed 2004/12/19)

(14)

- Museums Library Archives, “The People’s Network”, MLA, (online), available from <<http://www.mla.gov.uk/action/pn/00pn.asp>>, (accessed 2004/8/14)
- Museums Library Archives, “The People’s Network—online services from England’s public Libraries”, (online), available from <<http://www.mla.gov.uk/action/pn/00pn.asp>>
- Museums Library Archives, “The Museums, libraries and Archives Council Annual Report and Financial Statements”, (online), available from <<http://www.mla.gov.uk/documents/annualfinance2004.pdf>>, (accessed 2004/12/23)
- 財団法人自治体国際化協会, 『英国の地方自治 - LOCAL GOVERNMENT OF UNITED KINGDOM』, 東京, 自治体国際化協会, 2003, pp. 143-193
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR SUMMARY-英国における民間活力導入政策 (速報版) - The Private Finance Initiative』, 1998, p. 33
- Office of the Deputy Prime Minister, “Statistical Release”, (online), available from <http://www.odpm.gov.uk/pns/DisplayPN.cgi?pn_id=2004_0216>, (accessed 2004/12/19)
- Belfast Education and Library Board, “Annual Report 2001-2002”, (online), available from <<http://www.belb.org.uk/publications/Default.asp?viewby=show&id=220>>, (accessed 2004/12/19)
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154

(15)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
- Newcastle, “Libraries PFI”, (online), available from
<<http://www.newcastle.gov.uk/educilibnew.nsf/a/FinanceandprocurementLibrariesPFI?opendocument>>, (accessed 2004/12/19)
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR REPORT 英国の公共図書館』, 東京, 自治体国際化協会, 1995, p. 44
- 長谷川豊祐, 「アウトソーシングと電子図書館: コンビニ、宅配、EC を含む」, 『図書館員のためのインターネット』, (オンライン), 入手先 <<http://www2d.biglobe.ne.jp/~st886ngw/outsource/>>, (参照 2004/12/19)
- Shelagh Levett, “Partnership for Investment: The PFI Solution for Bournemouth Libraries”, (online), available from <<http://www.publicnet.co.uk/publicnet/fe031125.htm>>, (accessed 2004/12/19)
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR SUMMARY-英国における民間活力導入政策 (速報版) - The Private finance Initiative』, 1998, p. 33

(16)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154

(17)

- CILIP, “Lisjobnet - Online Library and Information Recruitment Advertising”, (online), available from <<http://www.CILIP.org.uk/jobscareers/lisjobnet/default.htm>>, (accessed 2004/12/19)
- Cornwall County Council, “Cornwall Library Service Annual Library Plan 2002-2003”, (online), available from <<http://www.cornwall.gov.uk/Vacancies/Default.htm>>, (accessed 2004/12/19)
- Belfast Education and Library Board, “Annual Report 2001-2002”, (online), available from <<http://www.belb.org.uk/publications/Default.asp?viewby=show&id=220>>, (accessed 2004/12/19)
- Belfast Education and Library Board, “DRAFT CORPORATE PLAN 2005 - 2008”, (online), available from <<http://www.selb.org/reports/index.htm>>, (accessed 2004/12/19)
- DCMS, “Libraries and Communities Comprehensive and Efficient –Standards for Modern Public Libraries”, (online), available from
<http://www.culture.gov.uk/NR/rdonlyres/eqiaencjxy4xo7nppbh12hah75aboqicwaxlodewgq6sikgj4qz3jkmgbjmmn6sqrwb2da5ts4m4cb3ffimgl7qhra/Library_standards_cons.pdf>, (accessed 2004/12/17)

(18)

- DCMS, “New Public Library Service Standards”, (online), available from
<http://www.culture.gov.uk/global/publications/archive_2004/library_standards.htm?properties=archive%5F2004%2C%2Flibraries%5Fand%5Fcommunities%2FQuickLinks%2Fpublications%2Fdefault%2C&month=>>, (accessed 2004/12/23)
- DCMS, “Developing a Performance Profile for Local Authority Cultural Services”, AWA, (online), available from
<<http://www.culture.gov.uk/NR/rdonlyres/evk4tgcwcoymnf4mix7jywh2wrtlbtmnhibtkhrjq33eew5sv22artarnpaap72qhrdliuku3rznueyxrwgxrhtnlc/AWAreport.pdf>>, (accessed 2004/12/23)

(22)、(23)、(24)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
- Corporation of London, “City Business Library”, (online), available from
<http://www.cityoflondon.gov.uk/Corporation/leisure_heritage/libraries_archives_museums_galleries/city_london_libraries/cbl.htm>, (accessed 2004/12/19)

(25)、(26)、(27)、(28)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154

(29)

- Cornwall County Council, “Cornwall Library Service Book Sales”, (online), available from
<<http://db.cornwall.gov.uk/librarydb/info/services.asp?srvID=34>>, (accessed 2004/12/19)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
(30)
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
(31)、(32)
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
(33)
- Sheila and Robert Harden, “The UK Public Libraries Page”, (online), available from
<<http://www.conwy.gov.uk/section.asp?cat=771>> (accessed 2004/10/8)
- The Orkney Library & Archive, (online), available from <<http://www.orkneylibrary.org.uk/index.htm>>,
(accessed 2004/11/10)
(34)
- ni-libraries.net, “Title Reservation for: Focus on Japan”, (online), available from
<http://opac.ni-libraries.net/cgi-bin/nireland.vps.sh?session_no=177670&enqtype=TITLE>,
(accessed 2004/11/5)
- Bedfordshire, “Welcome to Bedfordshire and Luton Libraries' Catalogue”, (online), available from
<<http://www.galaxy.bedfordshire.gov.uk/>>, (accessed 2004/11/11)
- Cardiff Libraries, “Start Searching”, (online), available from
<<http://ibistro.cardiff.gov.uk/uhtbin/webcat>>, (accessed 2004/11/5)
(35)
- Camden, “Community Information and Learning”, (online), available from
<<http://www.camden.gov.uk/ccm/content/leisure/libraries-and-online-learning-centres/community-information-and-learning.en>>, (accessed 2004/10/30)
- SEELB, “welcome”, (online), available from <<http://www.seelb.org.uk/>>, (accessed 2004/11/3)
(36)
- EMRLS, “Library&Information East midlands”, (online), available from
<<http://www.liem.org.uk/index.asp?sortby=d&>>, (accessed 2004/10 /19)
- West Midland Library, “West West Midland Library”, (online), available from
<<http://www.wm-libraries.org.uk/>>, (accessed 2004/10 /19)
(37)
- Belfast Education and Library Board, “Annual Report 2001-2002”, (online) available from
<<http://www.belb.org.uk/publications/Default.asp?viewby=show&id=220>>, (accessed 2004/12/19)
- 西川肇, 『改革を続ける英国の図書館 - 最新事情・見学報告』, 東京, リブリオ出版, 2003, p. 150
- 財団法人自治体国際化協会, 『CLAIR REPORT 英国の公共図書館』, 東京, 自治体国際化協会, 1995, p. 44
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
(38)
- Manchester City County Council, “The City of Manchester”, (online), available from
<<http://www.manchester.gov.uk/>>, (accessed 2004/8/17)
(39)、(40)
- Cilip, “Lisjobnet - Online Library and Information Recruitment Advertising”, (online), available from
<<http://www.cilip.org.uk/jobscareers/lisjobnet/default.htm>>, (accessed 2004/12/19)
- 嶋田真智恵, 「National Year of Reading-UK のリテラシー向上への取組み」, 『カレントアウェアネス』,
CA1241, No. 235, 1999年3月2日, (オンライン), 入手先
<<http://www.ndl.go.jp/jp/library/current/no235/doc0002.htm>> , (参照 2004/12/19)
- The Reading Agency, “Our Main Activities”, (online), available from
<<http://www.readingagency.org.uk/>>, (accessed 2004/12/19)
- NLT, “National Literacy Trust”, (online), available from <<http://www.literacytrust.org.uk/index.html>>,

- (accessed 2004/12/19)
- Booktrust, “Booktrust Bringing Books and Readers Together”, (online), available from <<http://www.booktrust.org.uk/>>, (accessed 2004/12/19)
 - Camden, “Hi! I’m Young Cat”, (online), available from <http://cindex.camden.gov.uk:8001/www-bin/www_talis32?nextpage=start_kids>, (accessed 2004/12/19)
 - Cilip, “Start with the Child”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/professionalguidance/youngpeople/startwiththechild>>, (accessed 2004/12/19)
 - Cilip, “Start with the Child”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/publications/updatemagazine/archive/archive2002/december/update0312b.htm>>, (accessed 2004/12/19)
 - The Orkney Library & Archive, (online), available from <<http://www.orkneylibrary.org.uk/index.htm>>, (accessed 2004/11/10)
 - 堀川照代, 「英国の読書推進活動」, 『カレントアウェアネス』, CA1498, No. 276, 2003年6月20日 (オンライン), 入手先 (<<http://www.ndl.go.jp/jp/library/current/ca276.pdf>>), (参照 2004/12/19)
- (40)
- SEELB, “Library Services”, (online), available from <<http://www.seelb.org.uk/>>, (accessed 2004/11/5)
- (41)
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p.154
- (42)
- Cilip, “Lisjobnet - Online Library and Information Recruitment Advertising”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/qualifications/framework.html>>, (accessed 2004/8/12)
 - Cilip, “Courses in Library and Information Studies Accredited by CILIP”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/qualificationschartership/Wheretostudy/default.htm>>, (accessed 2004/8/12)
 - Cilip, “Public Library Salary Guide”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/jobscareers/salaryguides/plsg. .html>>, (accessed 2004/10/12)
- (43)
- CILIP, “Training Directory 2005”, (online), available from <<http://www.cilip.org.uk/NR/rdonlyres/B4D862AE-904E-49AD-9D62-8946DA0E4274/0/TrainingDirectory.pdf>>, (accessed 2004/8/12)
- (44)
- Cookman, Noeleen, “The Use of Volunteers in Public Libraries-A Report the Library Association”, 2000, p. 8, pp. 86, (online), available from <http://www.la-hq.org.uk/directory/prof_issues/vols.html>, (accessed 2004/8/17)
 - IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
 - Shropshire CityCounty Council, “Library Friends Groups”, (online), available from <<http://www.shropshireonline.gov.uk/library.nsf/open/0DF89E896AD7FEF380256C990037C1EB>>, (accessed 2004/8/17)
 - Cookman, Noeleen, “The Use of Volunteers in Public Libraries-A Report the Library Association”, 2000, p. 8, p. 86, (online), available from <http://www.la-hq.org.uk/directory/prof_issues/vols.html>, (accessed 2004/8/17)
- (45)
- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
 - 西川肇, 『改革を続ける英国の図書館 - 最新事情・見学報告』, 東京, リブリオ出版, 2003, p. 45
 - 日本建築学会, 『建築設計資料集成 - 教育・図書』, 丸善株式会社, 東京, 2003, p. 161
- (46)
- NEELB, “ni-libraries”, (online), available from <<http://www.ni-libraries.net/app/Directory/LibraryBoardResults.asp?Board=neelb>>, (accessed 2004/11/5)
 - SELB, “ni-libraries”, (online), available from

<<http://www.ni-libraries.net/app/Directory/LibraryBoardResults.asp?Board=SELB>>, (accessed 2004/11/3)

(47)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154

(48)

- IPF, “Public Library Statistics 2001-02 Actuals”, London, 2003, p. 154
- Shetland, “Shetland Library Service”, (online), available from <<http://www.shetland.gov.uk/library/>>, (accessed 2004/11/10)
- Mondtimes, “Bangor, United Kingdom Media List”, (online), available from <<http://www.mondotimes.com/1/world/uk/171/4352>>, (accessed 2004/11/26)
- Becta, “ICT Advice for Teachers”, (online), available from <<http://www.ictadvice.org.uk/index.php?section=ab>>, (accessed 2004/12/19)

(50)

- Sheila and Robert Harden, “The UK Public Libraries Page”, (online), available from <<http://www.conwy.gov.uk/section.asp?cat=771>>, (accessed 2004/10/8)
- Ask a Librarian, “About Ask a Librarian”, (online), available from <<http://www.ask-a-librarian.org.uk/aboutask.html>>, (accessed 2004/10/19)
- Corporation of London, “City Business Library”, (online), available from <http://www.cityoflondon.gov.uk/Corporation/leisure_heritage/libraries_archives_museums_galleries/city_london_libraries/cbl.htm>, (accessed 2004/10/8)

(補)

調査完了後の2005年3月末日現在、UKのウェブサイト上で2004年の統計が公開されており、この年度分に関しては、現在無料でフルデータにアクセスできるようになっている。調査時にはこの情報はなかったため、レポートには反映できなかったが、今後の便宜のため下記にURLを掲載する。

- LISU Annual Library Statistics 2004 Featuring Trend Analysis of UK Public and Academic Libraries 1993-2003 (統計)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/pages/publications/als04.html#download> (紹介)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/downloads/als04.pdf> (フルテキスト)
- Public Library Materials Fund and Budget Survey 2003-2005 (公共図書館の財源や予算)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/pages/publications/matfund.html> (紹介)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/downloads/matfund2003-05.pdf> (フルテキスト)
- A Survey of Library Services to Schools and Children in the UK 2003-04 (公共図書館と学校図書館の子どもに対するサービス)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/pages/publications/sch-chil04.html> (紹介)
<http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/downloads/s&c04.pdf> (フルテキスト)

(中山 愛理、田嶋 知宏)